温室効果ガス削減支援ツール(Ver.2.1)

操作説明書

2019 年 3 月

公益社団法人 全国産業資源循環連合会

< 目 次 >

I.	操作説明書	1
	1. はじめに	1
	(1)ツールの機能	1
	(2)ツールを使用するにあたって	1
	(3)ツールの利用手順	1
	2. ツール使用の準備	2
	(1)Excel2000~2003 で使用する	2
	(2)Excel2007 で使用する	4
	3. 温室効果ガス削減支援ツール	7
	(1)ツールの起動と終了	7
	(2)メイン画面について	11
	(3)主な機能の操作手順	13
	4. ツールの操作手順	15
	(1)ツール操作の基本事項について	15
	(2)温室効果ガス排出量を算定する	16
	(3)地球温暖化対策の実施による削減効果を試算する	24
	(4)算定・報告・公表制度の排出量算定および報告様式を出力する	28
	(5)共通機能、その他	35
	5. 活動量の入力	37
	(1)収集運搬業における車両の燃料使用量の入力	37
	(2)収集運搬業における車両の燃料使用量の入力(月別の燃料使用量)	39
	(3)中間処理業における廃棄物の焼却量等の入力	40
	(4)中間処理業における廃棄物の焼却量等の入力(月別の焼却量等)	42
	(5)最終処分業における最終処分量等の入力	43
	(6)最終処分業における最終処分量等の入力(月別の最終処分量等)	45
	(7)関連施設および構内車両におけるエネルギー使用量の入力	46
	(8)関連施設および構内車両における燃料使用量の入力(月別のエネルギー使用量等)	48
	6. 温室効果ガス排出量の算定	49
	(1)収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定	50
	(2)中間処理業における温室効果ガス排出量の算定	52
	(3)最終処分業における温室効果ガス排出量の算定	54
	(4)産業廃棄物関連施設および構内車両における温室効果ガス排出量の算定	56
	7. 排出量の経年変化グラフの閲覧	58
	(1)表示年度の変更	59
	8. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算	60
	(1) 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算	61
	(2) 試算に用いた排出係数の表示	69
	(3)試算した削減効果の換算結果の閲覧	70

 9. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力 	71
(1)算定・報告・公表制度での算定方法による温室効果ガス排出量の算定	72
(2)算定・報告・公表制度の報告様式(様式第1および別表)の出力	76

I. 操作説明書

1. はじめに

本ツールは、全国産業廃棄物連合会の会員(中間処理業、最終処分業、収集運搬業)における地 球温暖化対策の積極的な導入、低炭素社会実行計画に応じた取組を促進するため、自らの活動量(燃 料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力を行うことで温室効果ガス排出量を自動算定し、算定結 果の閲覧、対策効果の試算・閲覧、報告様式の出力を行います。

(1) ツールの機能

本ツールは、以下の3つの機能があります。

表1ツールの機能

No	機能	内容
1	排出量の算定、算定結果の閲覧	指定された年度の温室効果ガス排出量の算定および算定 結果の閲覧を行います。
2	削減効果の試算、試算した削減 効果の換算結果閲覧	削減対策の実施による削減効果の試算および試算した削 減効果の換算結果の閲覧を行います。
3	算定・報告・公表制度用の排出 量算定、報告様式出力	指定された年度の活動量を元に算定・報告・公表制度用の 排出量の算定および報告様式の出力を行います。

(2) ツールを使用するにあたって

本ツールは、Microsoft Excel (エクセル)のファイルとして、Microsoft Excel 2003 をベース に、マクロ機能を用いて作成しています。本ツールを実行するためには、同ソフトおよび同ソフト が動作する環境が必要です。なお、下記のオペレーションシステムおよびソフトウェアは、動作確 認済みです。

・ オペレーティングシステム : Microsoft Windows Vista/7

- ・ 必要なソフトウェア: Microsoft Excel 2003/2007
- (3) ツールの利用手順

利用手順の概略は、図1のとおりです。初回のみ環境設定が必要です。設定後は、随時活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)を入力して、排出量の算定、算定結果の出力等を行います。



図 1 ツールの利用手順

2. ツール使用の準備

(1) Excel2000~2003 で使用する

Excel2000~2003 で使用する場合、マクロのセキュリティレベルが「高」以上に設定された状態では、マクロを実行することができないため、本ツールを利用できません。以下の手順でセキュリティレベルの設定を変更してください。

<セキュリティレベルの設定(Excel2000~2003)>



図 2 セキュリティレベルの設定手順

① セキュリティの設定画面の表示

エクセルが起動している状態で、メニューの「ツール」から「マクロ」、「セキュリティ」を選択 して、「セキュリティ」の設定画面を表示します。



図 3 セキュリティの設定画面の表示

② セキュリティレベルの変更

「セキュリティ」の設定画面で、「セキュリティレベル」を選択して、「中」にチェックを入れて、 「OK」ボタンを押します。設定を反映させるため、エクセルを終了します。セキュリティレベルの 設定が完了します。



図 4 セキュリティレベルの変更

③ ツールの利用(ツールを起動する際)

本ツール(エクセルファイル)を開くと、以下のセキュリティ警告が表示されます。ここで「マ クロを有効にする」ボタンを押します。ツールが起動して、メイン画面を表示します。

セキュリティ警告	×	
"C:¥Documents and Settings¥suuri_keikaku¥My Documents¥(支援ツール¥削減支援ツール×ls"(はマクロを含んでいます。	株)数理計画¥削減	
つわりにけつブリフが今キれている根本がまります 通常 つわりを知	「マクロを有対	めにする」ボタンを押す。
が、マクロが適正な場合、機能が使えななります。	MC DC X I C D	
マクロを無効にする(D) マクロを有効にする(E)	≣¥希田(<u>M</u>)	

図 5 セキュリティ警告

2. ツール使用の準備

(2) Excel2007 で使用する

Excel2007 で使用する場合、マクロの設定で「すべてのマクロを無効にする」に設定された状態 では、マクロを実行することができないため、本ツールを利用できません。以下の手順でマクロの 設定を変更してください。

<マクロの設定(Excel2007)>



図 6 マクロの設定手順

① マクロの設定画面の表示

エクセルを起動した状態で、左上の「Office」ボタンを押すと表示される「メニュー」から「Excelのオプション」ボタンを押して、「Excelのオプション」画面を表示します。

	🚽 🤊 -		削減支援ツール [互換モード] - Microsoft Excel
9		æ」ボタンを押す。	表示
	新規作成	1 画像2	
Ê	開((_)	 2 削減支援ツール 3 画像 	日 日 日 日 日 日 日
	変換(⊻)		
	上書き保存(<u>S</u>)		aeadadaeafadahaja.Jahalananadafadafasa
N	名前を付けて保存(A)・		ュー」から「Excelのオプショ
	印刷(P)	ン」ボ	タンを押す。
1	配布準備(E) ▶	<u> </u>	出量の質定等に関する支援ツール
	送信(<u>D</u>) >	/	
	発行(∐) ▶		
	閉じる(<u>C</u>)		平成20年度(2008年度) -
10		🗈 Excel のオプション(D) 🗙 Exce	1 の終了(公)

図 7 Excel のオプション画面の表示

「Excelのオプション」画面で、「セキュリティセンター」を選択して、「セキュリティセンターの設定」ボタンを押して、「セキュリティセンターの設定」画面を表示します。

Excel のオプション	and 19-0 408 AU	? <mark>×</mark>	
基本設定 数式 文章校正 保存	 ドキュメントを安全に守ひ、コンピュータを正常で安全な状態に フライバシーの保護 Microsoft ではフライバシーの保護に配慮しています。Microsoft Office E する声明な参照してください。 	オプション画面の「セキュリ キュリティセンターの設定	」ティセンター」で「セ 」 ボタンを押す。
詳細設定 ユーザー設定 アドイン	Microsoft Office Excel のブライバシーに関する声明を表示する Microsoft Office Online のブライバシーに関する声明 カスタマエクスペリエンスのトナログラム セキュリティと詳細情報		
95-7	プライバシー保護とセキュリティに関する Microsoft Office Online からの詳 Microsoft Windows セキュリティセンター 信頼できるコンピューティング Microsoft Office Excel セキュリティ センター	續情報を表示します。	
	セキュリティセンターではセキュリティとブライバシーに関する設定を行います。 ビュータを保護することができます。この設定は変更しないことをお勧めします	この設定により、コンセキュリティセンターの設定(I)_	
		OK	

図 8 セキュリティセンターの設定画面の表示

② マクロの設定を変更する

「セキュリティセンターの設定」画面で、「マクロの設定」を選択して、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」にチェックを入れて、「OK」ボタンを押します。マクロの設定が完了します。

セキュリティ センター	2 X
信頼できる発行元 信頼できる場所 アドイン ActiveX の時定 マクロの設定 メッセーシ ハー	マクロの設定 信頼できる場所にないドキュシント(こやりロが含まれる場合: 警告を表示してすべてのマクロを無対にする(1) 警告を表示してすべてのマクロを無対にする(2) マンパッ響右されにマウロのな無対にする(2) マンパッ響右されにマウロのな無対にする(推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E) 開発者向けのマクロ設定
外部コンテンツ フライバシー オブション	■ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを通する公 「マクロの設定」で「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」にチェックを入れて、「OK」ボタンを押す。
	OK #*>/U/

図 9 マクロの設定変更

③ ツールの利用(ツールを起動する際)

本ツール(エクセルファイル)を開くと、「セキュリティの警告」が表示されます。ここで「オ プション」ボタンを押して、「Microsoft Office セキュリティオプション」画面を表示します。

C	• (¥ •) =			削減支	援ツール	[互換モード] - Microsoft Excel
*-4	挿入	ページ レイアウト	数式 デー	々 校閲	表示	
×	MS Pゴシック	- 9	A A	= = >>		
貼り付け	BIU	- 🕒 - 🛆 - A		등 등 🗊		「オプション」ボタンを押す。
▼ クリップボー… №		フォント	G C	配置	/	G 数值 G 入久
クキョリティ	∩ 384 - → 苹尾	のアカティブ コンテンル	が無効におれました。	オプション	,	
U 1774					~	J
A1		$$ f_x				
	EFGHI	JKLMNO	PQRSTU	VWXYZ	a/aeac/	AELABAFACAHAIAJAKAUANANACAFACAFASA'
2						
3						
5	يشر و		_ 	Mail N	-	
6	# 32	公平	アス		7 16	ゥ 接 ツール
7 👎			, / / / /		N -	
8						
<u>9</u> 尾	至莱廃棄物	処理業の事業〉	舌動に伴う温雪	室効果ガス	非出重	の算定等に関する支援ツール
10						
				_		

図 10 セキュリティの警告

「Microsoft Office セキュリティオプション」画面で、「このコンテンツを有効にする」にチェックして、「OK」ボタンを押します。マクロが有効になった状態でメイン画面を表示します。

Microsoft Office セキュリティ オプション	8 ×	9
していたい マクロと Acti	veX	
マクロと ActiveX マクロとくべつかの ActiveX コントロールが無効にされ イルスが含まれているか、その他セキュリティ上の危険 ルの発行元が信頼できない場合は、このコンテンツ 警告:このコンテンツの発行元が信頼できるかどうか ンツが重要な機能を備えており、発行元が信頼でき	しました。このアクティブ コンテンツには、ウ 食性がある可能性があります。このファイ を有効にしないでください。 を確認することはできません。このコンテ でる場合を除き、このコンテンツは無効の	
ままにしてください。	「このコンテンツを有効	にする」に
 ← て明なコンテンツから保護する (推進)(P)	チェックして、「OK」ボ	タンを押す。
ヤキュリティヤンカーを開く	OK キャンセル	
		J

図 11 セキュリティの警告

3. 温室効果ガス削減支援ツール

- (1) ツールの起動と終了
 - 1 起動方法

本ツールは、ダウンロード等によって入手した「削減支援ツール.xls」(エクセルファイル)を 直接ダブルクリックすることで起動します。

🔄 削減支援ツール								
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T <u>) ヘリーパロ)</u>								
G 戻る ▼ ○ ▼ ② ▼ ② ★ 検索 P3 73 μg [削減支援ツール.xls をダブルクリックする。 [1]								
アドレス(D) 🛅 C:¥Documents and Set	ttings¥suuri_keikaku¥M	Documents¥	(株)数理計画¥削減	支援ツール		💌 🔁 移動		
フォルダ ×	名前 🔺 🖌		サイズ	種類	更新日時			
🞯 ቻスクトップ	副削減支援ツール		1,691 KB	Microsoft Excel ワ	2009/02/28 12:41			
🛛 🔁 דר איז די 🔁 🗖		<i>,</i>		-				
📃 🖂 (株)数理計画 🛛 🚽	1	重類: Microsoft	t Excel ワークシート					
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								
📄 ನಗ ೩೨-೮ック								
🛛 🖂 דר בטציב א 📰								
🕞 🥯 ローカル ディスク(C:) 🛛 🥃								

図 12 ツールの起動

また本ツールは、エクセルを起動した状態より、メニューの「ファイル」から「開く」を選択して表示された「ファイルを開く」画面で「削減支援ツール.xls」を指定して、「開く」ボタンを押すと起動します。



図 13 エクセルの「ファイルを開く」

<セキュリティ警告について(Excel2000~2003で使用する場合)>

本ツールを起動する(エクセルファイルを開く)際に、セキュリティ警告画面(図 14)が表示 されます。表示された場合は、「マクロを有効にする」ボタンを押します。本ツールが起動して、 メイン画面を表示します。

※注意メッセージ(図15)が表示された場合は、「OK」ボタンを押した後、エクセルのセキュリ ティレベルの設定を行います。セキュリティレベルの設定については、「2.ツール使用の準備(1) Excel2000~2003で使用する(p2)」を参照してください。

【セキュリティ警告画面が表示された場合】

セキュリティ警告	×
"C:¥Documents and Settings¥suuri keikaku¥My Documents¥(株)数 支援ツール¥削減支援ツール×Is"はマクロを含んでいます。	如理計画¥肖小成
マクロにはウイルスが含まれている場合があります。通常、マクロを無効な	「マクロを有効にする」を選択する。
が、マクロが適正な場合、機能が使えなくなります。 マクロを無効にする(D) マクロを有効にする(E)	====================================
 図 14 セキュリティ警告	
Ţ	
メイン画面	

Microsoft Excel	×
マクロが使用できません。セキュリティレベルが高に設定されています。また、デジタル署名された信頼された証明書がマクロに添付されていません。マクロを実行するには、セキュリティレベルを下げるか、まは証明機関が発行する証明書を使用してマクロに署名するよう作成者に依頼するようにしてださい。ただし、セキュリティレベルを下げるのは推奨しません。 ヘルプの非表示(E) <	読
次の理由により、このエラーが発生する可能性があります:	-
 マクロのセキュリティが以下のように設定されている場合: 【最高](設定されており、署名付きマクロであるが自動的に無効になる場合、次の手順でマクロを有効にできます: [シール]メニューの「マクロ」- ビキュリティレベルを「高」(設定します。ビキュリティレベル タブでセキュリティレベルを「高」(設定します。 ファイルと現在実行中の他のアウリケーションのインスタンスを閉じます(実行しているすべてのアウリケーションと閉じます)。 再度ファイルを開き、証明者の詳細を確認します。発行者からの証明者を信頼する場合は、[この発行者のマクロを常に信頼する]チェック ボックスをオンにします。 [本](2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(•
図 15 警告メッセージ	



[【]注意メッセージが表示された場合】

<セキュリティ警告について(Excel2007 で使用する場合)>

本ツールを起動する(エクセルファイルを開く)と、「セキュリティの警告」が表示されます。 表示された場合は、「オプション」ボタンを押して、「Microsoft Office セキュリティオプション」 画面を表示します。

※「セキュリティ警告」が表示されない場合は、マクロの設定を確認のうえ、設定を行います。 マクロの設定については、「2.ツール使用の準備(2) Excel2007 で使用する(p4)」を参照して ください。

) • (° •) =			削減支援ツール	[互換モード] - Microsoft	Excel
*-4	4 挿入 ページ	リレイアウト 数3	式 データ	校閲 表示		
1111日 111日	MS Pゴシック B <i>I</i> <u>U</u> ・	• 9 • A • 3 • A • 1		= »·] # #	「オプション」ボ	タンを押す。
クリップボー 😡	7#	2h	G.	配置	☞ 数値	<u>م</u> 29
🥥 セキュリティ	(の警告 一部のアクテ	ィブ コンテンツが無効	にされました。 🗌	オプション		
A1	- (9	f_{x}				
ABC	DEFGHIJK	LMNOPQ	RSTUVW	X Y Z AAAEAO	AEAEAFACAHAIAJAHAL	ANANAdAFAdAFASA
1						
2						
2						
2 3 4 5			» — »	at s alt -		
2 3 4 5 6	晶室交	カ果ナ	iス皆	川減日	支援ツ・	- ル
2 3 4 5 6 7	昷室交	り果さ	jス肖	川減	支援ツ・	-ル
2 3 4 5 6 7 8 9 <i>j</i>					支援ツ・	ール

図 16 セキュリティの警告

「Microsoft Office セキュリティオプション」画面で、「このコンテンツを有効にする」にチェックして、「OK」ボタンを押します。マクロが有効になった状態でメイン画面を表示します。

Microsoft Office セキュリティ オプション	2 ×
していたい マクロと Acti	veX
マクロと ActiveX マクロといくつかの ActiveX コントロールが悪効にされ イルスが含まれているか、その他セキュリティ上の危険 ルの発行元が信頼できない場合は、このコンテンツの 警告:このコンテンツの発行元が信頼できるかどうか ンツが重要な機能を備えており、発行元が信頼でき ままにつくがさい。	1ました。このアクティブコンテンツには、ウ 検性がある可能性があります。このファイ を有効にしないでください。 を確認することはできません。このコンテ そる場合を除き、このコンテンツは無効の
詳細情報 ファイルのパス: D:鞘以成支援ツール×ls ● 不明なコンテンツから保護する(排送)(D) ● このコンテンツを有効にする(E)	「このコンテンツを有効にする」に チェックを入れて、「OK」ボタンを押す。
セキュリティセンターを開く	OK キャンセル

図 17 セキュリティの警告

② 終了方法

本ツールは、メニューの「ファイル」から「閉じる」を選択すると終了します。終了する際に、 保存して終了するか確認するメッセージが表示されますので、保存する場合は、「はい」ボタンを 押してください。

Microsoft Excel	「はい」を選択する。				
	の変更を保存しますか?	_			
	キャンセル				

図 18 変更の保存確認メッセージ

(2) メイン画面について

本ツールは、起動するとメイン画面を表示します。メイン画面では、ボタンを押すとそれぞれ対応する画面を表示します。メイン画面の機能は、図 19 および表 2 のとおりです。

泪旁丛	ヨードットをす	+ 型 へ1 - 11	
温 主 刘 :	未刀人削減又	抜ソール	
産業廃棄物処理美の 1. 算定ツール	事業活動に伴う温室効果刀ス排出重の'算 ・	定等に関する支援ソール	
1.)年度の指述	〒 	平成22年度(2010年度) 🖵	
2.)活動量(憿	料使用量、焼却量、最終処分量	等)の入力	
 ○ 八力する活動量 ○ 収集運搬業(車両の燃 	(料使用量) C 最終処分業 (廃棄物の最終処分量等)	活動量の入力	▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
○ 中間処理美(廃業物)	パポキャ ○ 〈産廃関連施設の燃料使用量〉		
3.)排出量の	算定、 閲覧		
 □ 算定する温室効果カ入排 ○ 収集運搬業における排 ○ 中間処理業における排 	出量 出量 C 最終処分業における排出量 出量 C 最終処分業における排出量 出量 C 関連施設及び構内車両における	排出量の算定	▲ 各排出量の算定画面(p2C
	1711111		
	排出量の 経年変化グラフ		
2. 地球温暖化対			
※複数の試算を行う	場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってく 地球温暖化対策の実施による削減効果	の試算	→ 削減効果の試算画面(p24
	削減効果試算結果の閲覧		→ 削減効果の換算画面(p26
3. 算定•報告•公	表制度用の排出量算定、様式の	 出力	
	算定・報告・公表制度用の排出量算	→ 報告様式の算定画面(p28	
	算定・報告・公表制度報告様式の出	לל	→ 報告様式の出力画面(p31
	電気事業者別二酸化炭素排出係数の)更新	→ 排出係数の更新画面(p33
温室効果ガス削減す 社団法人 全国産業廃	援ツールver2.1 棄物連合会		「東京都治正と近か723-3 で在入記」

図 19 メイン画面

	リスト、ボタン名称	処理内容						
年度の指定	(選択リスト)	入力・閲覧、出力を行う年度を指定します。						
活動量の	入力する活動量(選択ボタン)	活動量の入力を行う排出源を指定します。						
入力	活動量の入力(表示ボタン)	指定された排出源の活動量の入力を行います。						
排出量の 算定	算定する温室効果ガス排出量 (選択ボタン)	 温室効果ガス排出量の算定を行う排出源を指定 します。						
	排出量の算定(表示ボタン)	指定された排出源の温室効果ガス排出量の算定 を行います。						
	排出量の経年変化グラフ (表示ボタン)	温室効果ガス排出量算定結果の経年変化グラフ を表示します。						
削減効果	地球温暖化対策の実施による削減 効果の試算(表示ボタン)	地球温暖化対策の実施による削減効果の試算を 行います。						
の試算	試算した削減効果の換算結果 (表示ボタン)	試算した削減効果および換算指標により換算し た削減効果の閲覧を行います。						
算定・報 告・公表	算定・報告・公表制度用の排出量算 定(表示ボタン)	算定・報告・公表制度用の温室効果ガス排出量の 算定を行います。						
日 日 日 日 制度用の 排出量算	算定・報告・公表制度報告様式の出 力(表示ボタン)	算定・報告・公表制度報告様式の出カイメージを 表示します。						
定、報告 様式出力	電気事業者別二酸化炭素排出係数 の更新(表示ボタン)	環境省および経済産業省で公表されている電気 事業者別ニ酸化炭素排出係数の更新を行います。						

表 2 メイン画面の機能一覧

(3) 主な機能の操作手順

本ツールを用いて排出量の算定や削減効果の試算を行う場合は、以下の手順で行います。

【機能1】排出量の算定を行う

―中間処理業における温室効果ガス排出量の算定を行う場合―



図 20 排出量の算定を行う場合の操作手順

【機能2】削減効果の試算を行う

一地球温暖化対策の実施による削減効果の試算を行う場合--

①「地球温暖化対策の実施による削減効果の試算」ボタンを押す。

②地球温暖化対策の実施による削減効果の試算画面で、対策を選択して、目標 値等を入力する。

目標値の設定/変更、試算/再試算

③試算した削減効果の換算結果を閲覧する。

図 21 削減効果の試算を行う場合の操作手順

【機能3】算定・報告・公表制度用の排出量算定、報告様式の出力 一算定・報告・公表制度用の排出量算定および報告様式の出力を行う場合—



図 22 算定・報告・公表制度用の排出量算定、報告様式出力を行う場合の操作手順

(1) ツール操作の基本事項について

本ツールを操作するにあたっての基本事項について説明します。

① 記入欄、リスト選択

本ツールでは、値を入力する「記入欄」およびリストから値を指定する「リスト選択」は、水色 のセルで表示します。「記入欄」への入力は、水色のセルを選択して直接入力を行います。「リスト 選択」では、水色のセルを選択して表示されるリストから値を指定します。

	燃料值	も用重	バ・ の	イオ燃料 割合(%)
ガソリン		(N)		
軽油		(N) (YaNL)		

図 23 入力欄およびリスト選択

② 自動算定、自動表示

本ツールでは、自動で算定または表示する箇所は、青色のセルで表示されます。なお、青色のセ ルは、編集できません。

			燃料体	田母	固有単位当りの		温室効果ガス排出重(tCO2)						
		Marken 1		単位発熱量(GJ)		CO,	CH₄	N,0	송計				
		ガソリン		100.0	(N)	34.6		232.2	0.0	0.0	232.2		
		軽油		150.0	(M)	37.9		390.0	0.0	0.0	390.0		

図 24 自動算定、自動表示

③ 活動量の入力値について

本ツールでは、会社全体の産業廃棄物処理業における温室効果ガス排出量を算定するため、活動 量の入力欄には、関連する工場・事業場、施設等の活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量、エ ネルギー使用量等)の年度合計値を入力します。ただし、月別の入力欄を利用する場合は、各車両・ 施設・設備単位で、月別に活動量を入力することができます。

※なお、月別の入力欄では、値が未入力であるセルは、グレー色に表示されます。

No	車種名	燃料種	単位	台数	4月	No	処分場名	產業廃棄物種類	単位	処分 場数	· 4月
1	10tトラック	軽油	99M	5	250	1	第1処分場	その他(有機無機) 温奈法派)	kş	1	2,500
				•							
<u>м</u>	施設名	產業廃棄物種類	単位	施設数	4月 4	No	施設名または 車両名	エネルギー種類	単位	施設。 台数	4月
1	焼却炉	燃料系展油、潤 温油水素油 素	ks	2	1001	1	本社	電気	kWh	1	5,00

図 25 各排出源の月別活動量入力画面 (一部)

(2) 温室効果ガス排出量を算定する

以降は、本ツールで温室効果ガス排出量を算定、閲覧するまでの操作の流れについて、中間処理に おける温室効果ガス排出量の算定を行う場合を例に説明します。

一中間処理における温室効果ガス排出量の算定を行う場合--



図 26 排出量の算定を行う場合の操作手順

年度を指定する

年度の指定は、メイン画面の「1.年度の指定」の選択リストから入力または算定を行う年度を 選択して行います。選択リストは、平成2年度(1990年度)から利用しているパソコンのシステ ム時間の年度まで表示します。



図 27 メイン画面

―中間処理における温室効果ガス排出量の算定を行う場合―



図 28 排出量の算定を行う場合の操作手順

② 活動量の入力画面を表示する

中間処理業における活動量(廃棄物の焼却量、廃棄物発電・熱利用量)の入力画面は、メイン画 面の「2.活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力」の「入力する活動量」で「中間 処理業(廃棄物の焼却量等)」にチェックを入れて、「活動量の入力」ボタンを押すと表示されます。



図 29 メイン画面

―中間処理における温室効果ガス排出量の算定を行う場合―



図 30 排出量の算定を行う場合の操作手順

③ 活動量を入力する

活動量の入力は、中間処理業(廃棄物の焼却量等)の活動量入力画面で、入力欄(水色セル)に 数値を入力して行います。また、活動量の単位は、選択リスト(水色セル)から指定します。活動 量の入力画面の詳細については、「5.活動量の入力(p37)」を参照してください。

1	〇中間処理業(廃棄物の焼却量等) 中間処理における焼却・溶酸量を入力してください。						記入					
	米 刮量·溶					規却量·溶酶	<u>ب</u>		の種類	(°C)	チック の割合(%)	水分割合 (%)
					t/戸No1		(1)	•				
			×	下水汚泥	炉No2	(t) (ks) 🖹					
			7576		<u></u> t/⊒No3		(t)	7				
				下水汚泥以外			(t)					
				燃料系魔油、潤滑油系魔	油、廃溶剤		(t)	人力甲位	立をリス	トから指知	ET ର.	ガス排出
			所出	動植物性廃油			(t)	(焼却量	量の場合に	は、t また	はkg)	水分割合
		産業	廃プラス	廃プラスチック類、合成ゴ	ムくず、合成繊維		(1)			-		
		廃	チック類	廃タイヤ			(t)					5.0
		物の	紙くす				(t)					
		焼	木くず				(t)					
		- -	繊維くず				(t)					
		潜融	動植物性	残渣			(t)					
	中間		動物系固	形不要物			(t)				【感染性廃棄	
	処		動物のふ	ん尿			(t)				の廃プラスチ	"
	·生 業		動物の死	体			(t)				□初期値は、 「全国平均値:	
			特別管理産業廃棄物の廃油				(t)				42.5KJ EL te.	
			感染性廣	棄物			(t)				42.5	
			その他G	晶合廃棄物)			(t)					
1					- V							

図 31 活動量の入力画面(中間処理業)

―中間処理における温室効果ガス排出量の算定を行う場合―



図 32 排出量の算定を行う場合の操作手順

③'活動量を月別に入力する

活動量は、月別に入力することができます。月別の活動量入力画面は、中間処理業(廃棄物の焼 却量等)の活動量入力画面より、画面上の「月報・中間」ボタンを押すと表示されます。活動量の 入力画面の詳細については、「5.活動量の入力(p37)」を参照してください。



図 34 月別活動量の入力画面(中間処理業)

―中間処理における温室効果ガス排出量の算定を行う場合―



図 35 排出量の算定を行う場合の操作手順

④ 排出量を算定する

中間処理業における温室効果ガス排出量の算定画面は、メイン画面の「3.排出量の算定、閲覧」 の「算定する温室効果ガス排出量」で「中間処理業における排出量」にチェックを入れて、「排出 量の算定」ボタンを押すと表示されます。



図 36 メイン画面

排出量の算定は、③または③'で入力した活動量をもとに自動で行います。算定した温室効果ガス排出量の結果は、算定表に表示されます。算定表の「排出係数」「単位発熱量」(水色セル)については、数値を再入力することができます。排出量の算定画面の詳細については、「6. 温室効果ガス排出量の算定(p49)」を参照してください。

※活動量および排出量(青色セル)は、自動で表示、算定されます。値の編集はできません。

132 41	烟法人 刍	自困産業	院棄物	建合会													
温室	効果	ガス	ス削減	支援	ツール							<u></u>	つ画面	活動量入	<u>.</u> நட	in 🗐 💦	
中間	処理詞	業にま	りける湯	室効果	「ガス排出	量の算	定		ſ	算定式]				• 44 III - A			
平成:	20年月	夏(2 0	08年月	度)						焼却重・ 焼却量・	コンホスト10 コンポスト化	;重×cu _z i ;重×ch_i	伸出係数=U 排出係数×C	0 ₂ 排出重 H_地球温暖	化係数=01	山相出重	
																£	
	A.海营共用42-444月本体内主								排出	係数	、単位	発熱	量を入	、力で	きる。		
)量 全外 明如理3	切未し 業にお	人指記 ろ温室	も里の身 効果ガス	∔正衣 1排出量の管	定結果で	す。※排出係	教の変更 直領	7571101.021153	1.							
	5/~	ACI 40 JI			0#03£07#			CD-18H(SE	CH.18HG25	0.00	NLDBHGX	11 (1678		室効果ガス	排出意(tCO.	.)	
					焼却重・淺	学融全		(tCD2/t	(tCH ₄ /t)	これ。地球 温暖化研究	(tN20/t)	周晩代係数	·	CH.	N ₄ O	// 合計	
			т	炉No1	100.0	(t)	r		0.0000140	21	0.000882	310		0.0	27.3	27.4	
		汪泥	水 汚	炉No2		(t)			0.0000140	21	0.000882	310		(
		10.06	泥	炉No3	•	(t)			0.0000140	21	0.000882	310		C	活動	量は自	1動表示される。
			下水汚》	尼以外		(t)			0.0000140	21	0.000460	310		4			
		atta ta	批料系度 系度油、质	油、清清油 名溶剂	200.0	(t)		2.919	0.0000048	21	0.000012	310	583.8	0.0	0.7	584.6	
		796 700	動植物也	生魔油		(t)			0.0000048	21	0.000012	310		0.0	0.0	0.0	
		廃フ°ラ フ≤ッ♪	房75%57% くず、合成者	電、合成ゴム 1694년	250.0	(t)		2.554	0.0000300	21	0.000180	310	638.5	ſ			
	産業	類	廆タイヤ			(t)		1.543	0.0000300	21	0.000180	310	0.0	c	排出	帚は白	動質定される
	廃	紙くず				(t)			0.0000220	21	0.000021	310		G			
	物	木くず				(t)			0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	
	焼	繊維く	ತ			(t)			0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	
	· 别	動植物	性残渣			(t)			0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	
	溶融	動物系	固形不到	要物		(t)			0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	
_		動物の)ふん尿			(t)			0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	
間		動物の)死体			(t)			0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	
処理		特別智	型皮莱麻弹	観察の魔神		(t)		2,919	0.0000048	21	0.000012	310	0.0	0.0	0.0	0.0	
業		廃感	うち、廃ナ	ラスチック		(t)		2.554	0.0000300	21	0.000180	310	0.0	0.0	0.0	0.0	
		兼架物性	廃プラスヨ の腐葉物	チック以外		(t)			0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	
		温 そ	うち、廃ナ	ラスチック		(t)		2.554	0.0000300	21	0.000180	310	0.0	0.0	0.0	0.0	
		合他	廃プラスヨ の廃棄物	チック以外		(t)	K		0.0000220	21	0.000021	310		0.0	0.0	0.0	

図 37 中間処理業における温室効果ガス排出量の算定画面

―中間処理における温室効果ガス排出量の算定を行う場合―



図 38 排出量の算定を行う場合の操作手順

⑤ 温室効果ガス排出量の経年変化を閲覧する

算定した温室効果ガス排出量の経年変化グラフは、メイン画面の「3.排出量の算定、閲覧」の 「排出量の経年変化グラフ」ボタンを押すと表示されます。



図 39 メイン画面

温室効果ガス排出量算定結果の閲覧画面は、算定された年度別の温室効果ガス排出量をグラフお よび一覧で表示します。グラフ及び一覧に表示する年度の範囲は、「表示年度の変更」ボタンを押 すと表示される「表示年度の変更」画面で指定することができます。排出量の閲覧画面の詳細につ いては、「7. 排出量の経年変化グラフの閲覧(p58)」を参照してください。



図 40 算定排出量の経年変化グラフの閲覧画面



図 41 表示年度の変更画面

(3)地球温暖化対策の実施による削減効果を試算する

以降は、本ツールで地球温暖化対策の実施による削減効果の試算、閲覧までの操作の流れについて 説明します。

一地球温暖化対策の実施による削減効果の試算を行う場合--



図 42 削減効果の試算を行う場合の操作手順

① 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算画面を表示する

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算画面は、メイン画面の「4.地球温暖化対策の実施 による削減効果の試算」の「地球温暖化対策の実施による削減効果の試算」ボタンを押すと表示し ます。



図 43 メイン画面

一地球温暖化対策の実施による削減効果の試算を行う場合一



図 44 削減効果の試算を行う場合の操作手順

② 地球温暖化対策の実施による削減効果を試算する

削減効果の試算は、実施予定または実施中の削減対策にチェックを入れて、表示された試算表の 記入欄(水色セル)に目標値等を入力して行います。削減効果は、値を入力すると自動で算定され ます。削減効果の試算画面の詳細については、「8.地球温暖化対策の実施による削減効果の試算 (p60)」を参照してください。

※自動で表示または算定するセルは、青色で表示されます。



図 45 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算画面

一地球温暖化対策の実施による削減効果の試算を行う場合一





③ 試算した削減効果の換算結果を閲覧する

試算した削減効果の換算結果の閲覧画面は、メイン画面の「4.地球温暖化対策の実施による削減効果の試算」の「削減効果試算結果の閲覧」ボタンを押すと表示されます。



試算した削減効果の換算結果画面は、試算した削減効果の合計およびその合計を「森林面積」や 「一般家庭の電力使用量」に換算した結果を表示します。

また、「森林面積」を「東京ドーム」の個数で換算した結果および「平均的な家庭の電気使用量」 を原油換算し「ドラム缶」の本数で表した結果を表示します。試算した削減効果の換算結果の詳細 については、「8.地球温暖化対策の実施による削減効果の試算(p70)」を参照してください。



図 48 試算した削減効果の換算結果画面

(4) 算定・報告・公表制度の排出量算定および報告様式を出力する

本ツールは、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)に基づく、算定・報告・公表制度」の 報告用の排出量算定および算定結果を反映した報告様式(様式第1:温室効果ガス算定排出量の報告 書)の出力を行うことができます。本ツールでは、産業廃棄物処理業に関係する温室効果ガス(CO₂、 CH₄、N₂0)を対象に排出量の算定を行います。

以降は、本ツールで算定・報告・公表制度の排出量算定および報告様式の出力までの操作の流れに ついて説明します。

■算定・報告・公表制度について

く制度の概要>

改正された地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)に基づき、平成18年4月1日から、 温室効果ガスを多量に排出する者(特定排出者)に、自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に 報告することが義務付けられました。また、国は報告された情報を集計し、公表することとされて います。

なお、平成21年4月1日より施行令が一部改正され、平成22年度から報告対象が工場・事業場 単位から企業単位に変わりました。前年度のすべての工場・事業場のエネルギー使用量の合計が 1,500kl 以上の場合は、エネルギー起源CO₂の温室効果ガス算定排出量の報告対象となります。今 回の改正に伴い、企業全体でのエネルギー使用量の把握が必要となります。

<対象となる温室効果ガスと事業者(平成21年度に行う報告まで)>

衣 5 対象となる 	
温室効果ガスの種類	対象事業者(特定排出者)
エネルギー起源二酸化炭素(CO_2) (燃料の燃焼 他人から供給された電気	省エネルギー法の第一種エネルギー管理指定工場及 び第二種エネルギー管理指定工場の設置者
(点料の点洗、他人がら供給された電気 又は熱の使用に伴い排出される CO ₂)	省エネルギー法の特定貨物輸送事業者、特定荷主、特 定旅客輸送事業者及び特定航空輸送事業者
エネルギー起源以外の二酸化炭素以外の 温室効果ガス	温室効果ガスの種類ごとに次の要件に合致する事業 所の設置者(事業者全体で常時使用する従業員の数が 21 人以上である者に限る。)
非エネルギー起源ニ酸化炭素 (上記以外の CO ₂)	排出量が 3,000 トン以上
メタン (CH ₄)	排出量が CO ₂ 換算で 3,000 トン以上
一酸化二窒素(N ₂ 0)	排出量が CO2 換算で 3,000 トン以上
ハイドロフルオロカーボン類 (HFC)	排出量が CO2 換算で 3,000 トン以上
パーフルオロカーボン類 (PFC)	排出量が CO2 換算で 3,000 トン以上
六ふっ化硫黄(SF ₆)	排出量が CO2 換算で 3,000 トン以上

表 3 対象となる温室効果ガスと事業者

一算定・報告・公表制度用の排出量算定および報告様式の出力を行う場合--



図 49 算定・報告・公表制度用の排出量算定、報告様式出力を行う場合の操作手順

① 算定・報告・公表制度用の排出量算定画面を表示する

算定・報告・公表制度用の排出量算定画面は、メイン画面の「5. 算定・報告・公表制度用の排 出量算定、様式の出力」の「算定・報告・公表制度用の排出量算定」ボタンを押すと表示されます。



図 50 メイン画面

一算定・報告・公表制度用の排出量算定および報告様式の出力を行う場合--



図 51 算定・報告・公表制度用の排出量算定、報告様式出力を行う場合の操作手順

算定・報告・公表制度用の排出量を算定する

算定・報告・公表制度用の排出量算定は、表示した算定表の記入欄(水色セル)に活動量を入力 して行います。排出量は、活動量を入力すると自動で算定します。算定・報告・公表制度用の排出 量算定画面の詳細については、「9. 算定・報告・公表制度用の排出量算定(p71)」を参照してく ださい。

※排出量(青色セル)は、自動で算定されます。値の編集はできません。



図 52 算定・報告・公表制度用の排出量算定画面

一算定・報告・公表制度用の排出量算定および報告様式の出力を行う場合--



図 53 算定・報告・公表制度用の排出量算定、報告様式出力を行う場合の操作手順

③ 算定結果をもとに算定・報告・公表制度報告様式を出力する

算定・報告・公表制度報告様式の出力画面は、メイン画面の「5.算定・報告・公表制度用の排 出量算定、様式の出力」の「算定・報告・公表制度報告様式の出力」ボタンを押す、または算定・ 報告・公表制度用の排出量算定画面で「様式出力」ボタンを押すと表示されます。



図 55算定・報告・公表制度用の排出量算定画面



算定・報告・公表制度報告様式の出力画面は、様式第1の印刷イメージに算定された排出量を印 字して表示します。印刷する場合は、「印刷」ボタンを押すと表示される印刷プレビューより、利 用しているプリンタを選択して行ってください。算定・報告・公表制度報告様式の出力画面の詳細 については、「9. 算定・報告・公表制度用の排出量算定(p76)」を参照してください。

温室効果ガス削減支援ツール		
<u>温室効果ガス算定排出量の報告書</u> 様式第1(第4条関係)		
温室効果ガス算定排出量の報告書		
	年 月 日	印刷する場合は、「印刷」ボタン
事業所管大臣(地方支分部局長) 殿	を 押す。	
報告者 住 所 〒		
氏 名		
(法人にあってん	【名称及び代表者の氏名)	
地球温暖化対策の推進に関する法律(以下「法」という。)第21条の 室効果ガス算定排出量について、次のとおり報告します。	2第1項の規定により、温	印刷プレビュー
(ふりがな) 事業所 特定排出者の名称		
(前回の報告における名称)		
(ふりがな) 事業所の名称		
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	$\sim$	
(別紙)	据先年度· 年度	
「存定排出有ユート」	к	
エネルギーの使用の合理化に関する法 1. 第一種エネルギー管理指定:		
律に基づく第一種エネルキー管理指定 工場等の該当の有無(該当する場合に 地名の該当時に基づく物合に(		
はての番号及い问法に基づく指定に係 1441~管理指定工場指 る番号を記載) 定番号		
備考 1 特定排出者コード、都道府県コード及び事業コードの欄には 臣が定めるところにより、それぞれ特定排出者、都道府県及び 記載すること。	t、環境大臣及び経済産業大 『事業ごとに付された番号を	
2 ※の欄には、記載しないこと。		
第1表 温室効果ガス算定排出量(その1)		
温室効果ガスである物質の区分	温室効果ガス算定排出量	
1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	4,660 <b>∢ t 66</b> 持	非出量は自動表示される。
2. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素以外の二酸化炭素	876 t-CC	(編集可)
3. メタン	0 t-CQ	
4. 一酸化二窒素	56 t-CO _z	
5. ŊŦŸĔIJŊĦĔŊŎĸĸĿĹ	t-CO _z	
6. パーフルオロカーボン	t-CO _z	
7. 六ふっ化硫黄	t-CO ₂	

図 56 算定・報告・公表制度報告様式の出力画面
一算定・報告・公表制度用の排出量算定および報告様式の出力を行う場合--



図 57 算定・報告・公表制度用の排出量算定、報告様式出力を行う場合の操作手順

#### ④ 電気事業者別二酸化炭素排出係数を更新する

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新画面は、メイン画面の「5.算定・報告・公表制度用の 排出量算定、様式の出力」の「電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新」ボタンを押すと表示され ます。



図 58 メイン画面

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新画面は、本ツールで利用している電気事業者別二酸化炭 素排出係数を 2005 年度から 2020 年度まで表示します。新しい年度の電気事業者別排出係数が公表 された場合は、公表された排出係数で値を更新してください。

※単位は、「 $tCO_2$ / + kWh」となります。単位が「 $tCO_2$ / kWh」の場合は、値を千倍してから入力してください。

公益社団法人 全国産業廃棄物連合	会															
効果ガス削減す	古掻く	<i>I</i> I	L.									ſ	メイン		មាន	8
の木小へ印成。	×18.	<u> </u>	2													
者別二酸化炭素	排出係	数の更	新			a 6 600 🛨 da		-		(n + + 1						
ξ以降の排出係数は、20 の該当する排出係数の値	11 年度の また古 培修	係剱か登 タェェ! デ	(就されて) は	います。	東現省 以 行って/1	い栓圧省 ださい	より取新	牛度の預	出係剱刀	い公衣され	はしたら					
	EC 12 19 1	ыпосс	17 111 1/4 304		11 2 6 6	20.0.0										
事業者別ニ酸化と	炭素排	出係数	一覧													
び経産省より公表された	最新年度	の電気事	\$業者別掛	出係数	\$2011年	度(平成	23年度)	です。※	H25.4.1現	在				【単位	:tC0,/-	∓kWh]
雷驾车拿去									度						-	
电八字未有	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
力(株)	0.502	0.479	0.517	0.588	0.433	0.353	0.485	0.485	0.485	0.485	0.485	0.485	0.485	0.485	0.485	0.485
株)	0.510	0.441	0.473	0.469	0.468	0.429	0.547	0.547	0.547	0.547	0.547	0.547	0.547	0.547	0.547	0.547
(株)	0.368	0.339	0.425	0.418	0.384	0.375	0.464	0.464	0.464	0.464	0.464	0.464	0.464	0.464	0.464	0.464
1(株)	0.452	0.481	0.470	0.455	0.474	0.473	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518
(秩)	0.407	0.457	0.555	0.550	0.374	0.423	0.641	0.641	0.641	0.641	0.641	0.641	0.641	0.641	0.641	0.641
(株)	0.358	0.338	0.366	0.355	0.294	0.311	0.450	0.450	0.450	0.450	0.450	0.450	0.450	0.450	0.450	0.450
(休)	0.555	0.555	0.555	0.674	0.628	0.728	0.657	0.657	0.657	0.657	0.657	0.657	0.657	0.657	0.657	0.657
休/	0.378	0.368	0.392	0.378	0.407	0.326	0.552	0.552	0.552	0.552	0.552	0.552	0.552	0.552	0.552	0.552
](休)	0.365	0.375	0.387	0.374	0.369	0.385	0.525	0.525	0.525	0.525	0.525	0.525	0.525	0.525	0.525	0.525
ハ(休)  クフ (姓)	0.555	0.555	0.555	0.946	0.931	0.935	0.932	0.932	0.932	0.932	0.932	0.932	0.932	0.932	0.932	0.932
	0.445	0.429	0.414	0.462	0.586	0.560	0.612	0.612	0.612	0.612	0.612	0.612	0.612	0.612	0.612	0.612
	0.204	0.204	0.204	0.204	0.300	0.345	0.275	0,275	0.275	0.275	0.275	0.275	0.275	0.275	0.275	0.275
(休木) (二、) (艹)	0.518	0.423	0.411	0.422	0.498	0.474	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503	0.503
	0.562	0.562	0.562	0.562	0.569	0.562	0.437	0.437	0.437	0.437	0.437	0.437	0.437	0.437	0.437	0.437
(杯)	0.555	0.555	0.555	0.667	0.472	0.423	0.432	0.450	0.432	0.432	0.432	0.432	0.452	0.452	0.432	0.432
L	0.007	0.007	0.007	0.007	0.704	0.000	0.400	0.400	400	0.400	0.400	0.400	0.400	0.400	0.400	0.400
	0.424	0.555	0.427	0.430	0.429	0.409	0.409	0.409	0449	0.409	0.409	0.409	0.409	0.409	0.409	0.409
ver	0.005	0.005	0.005	0.005	0.463	0.450	0.446	0.448	0.370	0.440	0.440	0.440	0.446	0.440	0.440	0.440
	0.555	0.555	0.555	0.561	0.615	0.586	0.575	0.575	0.550	0.575	0.575	0.550	0.550	0.550	0.575	0.570
+=-	0.555	0.555	0.555	0.561	0.913	0.889	0.817	0.817								
ホールディングス	0.555	0.555	0.555	0.561	0.521	0.521	0.550	0.550	●	新す	る援	言合に	t. 🗄	2.7	欄 (	水色
ジー(株)	0.555	0.555	0.538	0.505	0.675	0.544	0.480	0.295		.191 2	(L)					
パワー(株)	0.555	0.289	0.289	0.767	0.561	0.559	0.550	0.550	さ	nt=	- #!4	- 伭*	かち	ち 注 う	ת ג	すス
(内ス(柱)										1 0/0	- 12-11	<u>ל</u> אות ב				9 °
レディングス(株))	0.674	0.674	0.674	0.674	0.422	0.420	0.442	0.442	L							
,石油(株)	0.555	0.555	0.555	0.809	0.901	0.355	0.371	0.371	0.371	0.371	0.371	0.371	0.371	0.371	0.371	0.371
<u>金</u> エンジニアリング(株)	0.555	0.555	0.555	0.759	0.685	0.672	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601
5エネルギー(株)	0.555	0.555	0.550	0.433	0.433	0.420	0.379	0.379	0.379	0.379	0.379	0.379	0.379	0.379	0.379	0.379
ス	0.330	0.330	0.330	0.330	0.337	0.386	0.378	0.378	0.378	0.378	0.378	0.378	0.378	0.378	0.378	0.378
ドパワー(株)	0.403	0.432	0.468	0.482	0.467	0.498	0.393	0.393	0.393	0.393	0.393	0.393	0.393	0.393	0.393	0.393
ジニアリング(株)	0.555	0.555	0.555	0.561	0.303	0.328	0.391	0.391	0.391	0.391	0.391	0.391	0.391	0.391	0.391	0.391
サービス(株)	0.555	0.555	0.555	0.561	0.057	0.057	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065
ノ(株)	0.693	0.693	0.693	0.693	0.670	0.638	0.476	0.476	0.476	0.476	0.476	0.476	0.476	0.476	0.476	0.476
テック協同組合	0.555	0.555	0.555	0.561	0.644	0.540	0.463	0.463	0.463	0.463	0.463	0.463	0.463	0.463	0.463	0.463
発(株)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.561	0.559	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550
(株)	0.555	0.555	0.555	0.679	0.749	0.591	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601	0.601
グリーンパワー(株)	0.555	0.555	0.555	0.561	0.000	0.000	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016
	0.555	0.507	0.492	0.501	0.540	0.456	0.343	0.343	0.343	0.343	0.343	0.343	0.343	0.343	0.343	0.343
グリーンエネルギー(株)	0.555	0.555	0.555	0.561	0.561	0.494	0.405	0.405	0.405	0.405	0.405	0.405	0.405	0.405	0.405	0.405
グリーンパワー(株)	0.776	0.776	0.776	0.776	0.368	0.232	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550
マックス	0.555	0.555	0.555	0.561	0.561	0.559	0.823	0.823	0.823	0.823	0.823	0.823	0.823	0.823	0.823	0.823
リゾート開発	0.555	0.555	0.555	0.561	0.561	0.559	0.768	0.768	0.768	0.768	0.768	0.768	0.768	0.768	0.768	0.768
	0.555	0.555	0.555	0.561	0.561	0.559	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550	0.550

図 59 電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新画面

■電気事業者別二酸化炭素排出係数について

算定・報告・公表制度では、使用した電気の発電に伴う二酸化炭素の排出量については、国が公 表する電気事業者別排出係数を用いて算定しております。電気事業者別排出係数については、環境 省の温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の特設ページ「温室効果ガス排出量算定・報告・公 表制度について(<u>http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/</u>)」を確認ください。

## (5) 共通機能、その他

各画面には、以下の共通機能があります。

① 処理年度の表示 (左上部)

左上部には、現在処理中の年度が表示されます。



図 60 処理年度の表示(左上部)

② 各画面への移動、印刷イメージの表示ボタン(右上部)

右上部には、各画面への移動ボタン、印刷プレビューの表示ボタンが表示されます。各ボタンを 押すと、指定された画面、印刷プレビューが表示されます。



図 62 印刷プレビュー

- 4. ツールの操作手順
  - ③ バージョン情報 (メイン画面の最下部)

ッールのバージョン情報は、メイン画面の最下部に表示されます。ツールのバージョン情報を確認する場合は、この画面を確認ください。



図 63 バージョン情報 (メイン画面の最下部)

### 5. 活動量の入力

活動量の入力では、排出量の算定に必要な活動量(車両の燃料使用量、廃棄物の焼却量、最終処 分量、関連施設及び構内車両の燃料使用量等)の入力、焼却炉の種類や最終処分場の構造の指定を 行います。温室効果ガス排出量は、排出源ごとに入力した活動量に排出係数と地球温暖化係数(GWP) をかけて算定されます。本ツールでは、会社全体の産業廃棄物処理業における温室効果ガス排出量 を算定するため、関連する工場・事業場、施設等の活動量の合計値を入力してください。

#### (1) 収集運搬業における車両の燃料使用量の入力

収集運搬車両の燃料使用量の入力を行います。収集運搬車両では、3つの異なる排出量算定手法 が選択できます。1つは、標準手法の「燃料使用量から排出量を算定する方法(燃料法)」です。 残りの2つは、代替手法の「輸送距離と燃費から排出量を算定する方法(燃費法)」と「積載率と 車両の燃料種類、最大積載量別の輸送量(輸送トンキロ)から排出量を算定する方法(改良トンキ ロ法)※トラック限定」です。算定の精度は、「燃料法」>「燃費法」>「改良トンキロ法」の順 です。

活動量の入力は、手法、燃料種類ごとにセルを分けて行います。入力欄及び選択リストは、水色 のセル、自動で表示、算定する欄は、青色のセルで表示されます。

温室	<u>効果</u> 量(燃	ガス 料使用	減支援ツール 量、焼却量、最終処分量等)の	入力					×	行ン画面印刷
平成: 〇川 産業	20年度 <b>収集運</b> 養廃棄物	[2001 [ [ [ [ [ [ ] ] ] ] ] ] ] ] ] ] ] ] ]	3年度) 車両の燃料使用量) ^{殿車両の燃料使用量を入力してくださ(}	,ヽ。※構内の車両(重機等)は[	関連	月朝	算 (	定する 会社全	手法を選び 体の活動量	、活動量を入力する。 きを計上する。)
				燃料使用量	ר ס	5イオ燃料 )割合(%)				
			ガソリン	100.0 (ki)		$ \ll $	١			
			軽油	250.0 (ki)		1			開及7% 碑圯	リフトは 水色の
		燃料	LPG	(t)		$\mathcal{H}$				
		法	天然ガス(CNG車燃料)	(千m)		H		セル、	目動で表	ホ、昇正9る傾は、
	UT7		バイオエタノール	(KI)		3		青色の	のセルで表	示される。
עוו	集		バイオディーゼル	(N)						
集運	· 連 撤 車 一			燃料使用重		台数	1台) 平均 ()	当りの年間 輸送距離 (m/年)	燃费 (km/l,km/kg, 	
業	0 +**		ガソリン	(K)	¥					
	料	燃	軽油	(ki)						
	费	法	LPG	(1)						
			天然ガス(CNG車燃料)	(千m ^{\$} )						
				燃料使用重		台数	最大	└積載重 (t)	平均積載率 (%)	1台当りの年間 平均輸送距離 (km/年) 位(ソッハル/t・km)
		改良 トンキロ	ガンリン	(kj)	♦					
		法	軽油	(kj)						

図 64 活動量の入力画面(収集運搬業)

「燃料法」では、年度の燃料種類別の燃料使用量及びバイオ燃料の割合(バイオエタノール、バ イオディーゼルのみ)を入力します。はじめに、燃料の単位を指定します。単位のセルをクリック すると、選択リストが表示されるので入力する値の単位を選択します。次に燃料使用量のセルをク リックして、セルに直接数値を入力します。年度の燃料使用量が分からない場合は、「燃費法」も しくは「改良トンキロ法」を利用ください。

「燃費法」では、台数及び1台当りの年間平均輸送距離、燃費を入力します。燃料使用量は、数 値を入力すると自動で算定されます。

「改良トンキロ法」では、台数及び最大積載量、平均積載率、1台当りの年間平均輸送距離を入 カします。燃料使用量、改良トンキロ法燃料使用原単位は、数値を入力すると自動で算定されます。



図 65 活動量の入力画面(収集運搬業)

※本ツールでは、活動量を月別に入力することができます。車両の燃料使用量を月別に管理して いて燃料使用量を月別に入力したい場合は、次のページ「(2) 収集運搬業における車両の燃料使 用量の入力(月別の燃料使用量)」を参照してください。

38

(2) 収集運搬業における車両の燃料使用量の入力(月別の燃料使用量)

月別の車両別、燃料使用量を入力する場合は、「月報・収運」ボタンを押して、収集運搬(月報) 画面を表示させて行います。

※収集運搬(月報)画面で登録した値は、活動量入力画面の「燃料法」の燃料使用量に自動で反 映されます。燃料使用量に入力値があった場合は、記入用シートで入力した値で上書きされます。



図 67 収集運搬業おける月別の車両別、燃料使用量の記入用シート

収集運搬における月別の車両別、燃料使用量の記入用シートでは、「車種名(自由記入)」「燃料 種(リストから選択)」「台数」「燃料使用量4月~3月」を入力します。「燃料別、台数および燃料 使用量の合計(集計結果)」には、入力した月別の燃料種類別、燃料使用量の合計が自動で表示さ れます。

※記入用シートは、50件の車両データを登録できます。入力値は年度ごとに保存します。

5. 活動量の入力

# (3) 中間処理業における廃棄物の焼却量等の入力

産業廃棄物の焼却量・溶融量、廃棄物発電量、熱利用量の入力を行います。本ツールは、入力し た産業廃棄物の焼却量・溶融量から温室効果ガス排出量を算定し、廃棄物発電量、熱利用量から温 室効果ガス削減量を算定します。

活動量の入力は、廃棄物種類ごとにセルを分けて行います。入力欄及び選択リストは、水色のセルで表示されます。

🙀 t	咽法人 全的	国産業廃棄	桌物連合会									
温室	効果	ガス	制减支援	ソール						<mark>&gt;</mark>	イン画面	印刷
活動	重(燃	料使用	<b>量、焼却量</b> 、	最終処分量	(等)の	ለ ታ					(	
半历	20年度	£(2008	3年度)	「焼却量	・溶剤	量」を入力	する。		「炉の種	類」「凝集預	剤の種類」	「燃焼
0	中間処	理業(	廃棄物の焼	(企業全	体の活	「動量を計上」	する。)	$\Box$	温度」を	リストから	指定する。	
中	間処理に	おける焼	却・溶融量を	UTU CARE	•			- / '				
						焼却量・溶	融重	炉の種類	<b>凝</b> 集剤 の種類	燃焼温度 (*C)	廃プラスチック の割合(%)	水分割合 (%)
					炉No1	100.0	(t)	流動床炉	高分子凝集到	高温燃焼(燃焼 温度約850℃)		
		法泥	下水污泥		炉No2		(t)	多段炉				
					炉No3		(t)	その他	高分子凝集剤 石灰系凝集剤 その他路集剤			
			下水污泥以外				(t)				【魔タイヤの水	(分割合)
		廃油	燃料系廃油、潤	滑油系廃油、廃落	到	200.0	(t)				環境省の温室 ━< 重算定に関す	効果ガス排出 る検討結果報
			動植物性廃油				(1)	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			告書より「平 値:5.0%」とした	均な水分割合
	産業	廃プラス	廃プラスチック≸ 	便、合成ゴムくず、台	合成繊維	250.0	(t)	ノ惻及し	選択リスト	は、水田		
	廃		廃タイヤ				(t) <u>(</u>	)セルで表	示される。			5.0
	物の	紙くす					(t) <b></b>	~	$\sim$			
	焼却	木くず					(t)			785	)割合を入う	
	· 溶	繊維くず					(t)					
	融	動植物的	主残渣				(t)					
間加		動物糸匠	回形小麦物 				(1)		ラスチックの	の割合を入	カする。	*
理		動物のみ	[、] ん尿 				(1)		<u> </u>		初期値は、	
*		動物 00 m 結別俗種	E144 用在苯胺泰物(① 開	()由			(1)	_	$\geq$		↓ 「全国平均値: ┃/42.5%」とした。	
			* <u>全</u> 新	.,			(1)	_			42.5	
		その他()			(			_				
		1				原料として投	入した建					
	,有	有機性況	5泥		- (		(t)	「原料。	として投入	した量」を	入力する。	
	¹ 機 ン性	動植物性	 挂残渣				(t)					
	小廃 ス廃	紙くず、ス	木くず、繊維くず				(t)					
	「物化の	その他の	)有機性廃棄物				(t)					
	_ :	」 温室効-	果ガス削減す	掘 —								
	廃棄	/=_//// 物発電、	、熱利用の	。 実績を入力し	てくたる	ŧu.		「必一日。	熱利田昌」	たりわす		
						発電量・熱調	利用重	' 尤电里 "	「里田正小派	27/19		
	熱発	廃棄物到	ê•e				(ŦkWh)					
	用・	廃棄物熱	約用				(∓MJ)					

図 68 活動量の入力画面(中間処理業)

「焼却量・溶融量」の入力表では、年度の産業廃棄物の焼却量・溶融量を入力します。はじめに、 焼却量の単位を指定します。単位のセルをクリックすると、選択リストが表示されるので入力する 値の単位を選択します。「炉の種類」「凝集剤の種類」「燃焼温度(値の入力も可)」も同様に指定し ます。次に焼却量のセルをクリックして、セルに直接数値を入力します。

※ただし、「燃焼温度」は「炉の種類」が「流動床炉」で、かつ「凝集剤の種類」が「高分子凝 集剤」の場合のみ指定します。該当しない場合は、セルは白色の斜線で表示されます。

「廃棄物発電・熱利用量」の入力表では、はじめに、発電・熱利用量の単位を指定します。単位 セルをクリックすると、選択リストが表示されるので入力する単位を選択します。次に発電・熱利 用量のセルをクリックして、セルに直接数値を入力します。

[	O 中間	<b>中間処</b> 処理に	: <b>理業()</b> おける焼	廃棄物の焼却量等) 却・溶融量を入力してください	۱.		数値を入	、力する。	入 大	単位をり	リストから	指定する。
						が却里・	溶融重	「「「種類	凝集剤 の種類	燃焼温度 (*C)	廃プラスチック の割合(%)	水分割合 (%)
					炉No1	100.0	(1)	流動床炉	高分子凝集到	850		
			汗泪	下水汚泥	炉No2		(1)	多段炉	高分子凝集到			
			1016		炉No3		(t)	その他	石灰系凝集剂			
				下水汚泥以外			(t)		$\square$		【 廃 タイヤの水:	分割合】
			麻油	燃料系廃油、潤滑油系廃油、廃落	阇	100.0	(t)		$\square$		環境省の温室3 一 量算定に関する	効果ガス排出 5検討結果報
			26.20	動植物性廃油			(t)		$\square$		告書より「平均 一値:5.0%」とした	な水分割合
		<b>走</b> 業	廃プラス	廃プラスチック類、合成ゴムくず、1	合成繊維	100.0	(t)					
		廃棄	チック類	廃タイヤ			(t)		各リス	トから指	正9る。	5.0
		物の	紙くす				(t)					
		焼却	木くず				(t)					
		•	繊維くす				(t)					
		融	動植物性	残渣			(t)					
	中間		動物系固	]形不要物			(t)				【感染性廃棄物	
	処理		動物のふ	ん尿			(t)				の魔フラスチック割合】	
	×.		動物の死	<b>*</b>			(t)				初期値は、  「全国平均値:	
			特別管理	建業廃棄物の廃油			(t)				42.5K] EL te.	
			感染性质	ī棄物			(t)				42.5	
			その他()	<b>晶合廃棄物</b> 〕			(t)					
						原料として打	受入した重					
		口梅	有機性汚	i			(t)					
		ン1% ポーポープ	動植物性	残渣			(t)					
		ス廃 ト編	紙くす、オ	≂くす、繊維くす			(t)					
		化の	その他の	<b>-</b> 有機性廃棄物			(t)					

図 69 活動量の入力画面(焼却量・溶融量)

- ;	量室効果ガス削減効果 ―	
廃棄物	<u>物発電、熱利用の実績を入力してくたさ</u>	<b>t</b> 1.
		発電量·熱利用量
熱発	廃棄物発電	(fikWh)
用・	廃棄物熱利用	(千MJ)

図 70 活動量の入力画面(発電量·熱利用量)

※本ツールでは、活動量を月別に入力することができます。焼却炉の焼却量を月別に管理してい て焼却量を月別に入力したい場合は、次のページ「(4)中間処理業における廃棄物の焼却量等の入 カ(月別の焼却量等)」を参照してください。 5. 活動量の入力

(4) 中間処理業における廃棄物の焼却量等の入力(月別の焼却量等)

月別の産業廃棄物別、焼却量等を入力する場合は、「月報・中間」ボタンを押して、中間処理(月報)画面を表示させて行います。

※中間処理(月報)画面で登録した値は、活動量入力画面の焼却量・溶融量及び廃棄物発電・熱 利用量に自動で反映されます。焼却量・溶融量に入力値があった場合は、記入用シートから集計し た値で上書きされます。



図 72 中間処理業における月別の産業廃棄物種類別、焼却量・溶融量の記入用シート

中間処理業における月別の産業廃棄物別、焼却量・溶融量の記入用シートでは、「施設名(自由 記入)」「産業廃棄物種類(リストから選択)」「施設数」「焼却量・溶融量4月~3月」を入力しま す。「産業廃棄物種類別、施設数および焼却量・溶融量の合計(集計結果)」には、入力した月別の 産業廃棄物種類別、焼却・溶融量の合計が自動で表示されます。

※記入用シートは、50件の施設・設備データを登録できます。入力値は年度ごとに保存します。

# (5) 最終処分業における最終処分量等の入力

廃棄物の最終処分量、発生ガスの焼却量の入力を行います。本ツールは、入力した廃棄物の最終 処分量から温室効果ガス排出量を算定し、発生ガスの焼却量から温室効果ガス削減量を算定します。 活動量の入力は、廃棄物種類ごとにセルを分けて行います。入力欄及び選択リストは、水色のセ ルで表示されます。

	宝	林里	+ <u></u> * 7 8	11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.				
/ 活亚	動	≫/木 量(燃 20年6	クスト 料使用 ま(2009	川秋又伝ノール 量、焼却量、最終処 の在庭)	」分量等)の	入力	日報・	「最終処分場の構造」をリストから指
ľ	102.4	2043	2 (2000		終処分量	(湿重量)」を入力する	J.	定する。「水分割合」「有機成分の割
┢	О	最終処	分業()	廃棄物の最後(介	業全体の	活動量を計上する。)		合」入力する。
	最終	§処分場	への最終	冬処分量を入力してくた				
					$\overline{}$	最終処分重 (温重量)	最終処分場 の構造	水分割合 有機成分の (%) 割合(%)
				下水污泥		100.0 (t)	嫌氮性	70.0
				製造業有機性汚泥		(t)	準好気性 嫌気性	67.0
			有機性   汚泥	浄水汚泥		(t)	嫌気性	70.0
		生		し尿処理汚泥		(t)	嫌氮性	入力欄及び選択リストは、水色
		解		その他(有機無機混合汚漏	Ð	(1)	嫌氮性	のセルでまテナれる
		廃	紙くず			(t)	嫌氮性	のビルに表示される。
	最	棄物	木くず			(t)	嫌氨性	45.0
	終 処	の 最	繊維くず			(t)	嫌氮性	15.0
	分業	終処	動植物性	接透		(t)	嫌氮性	75.0
		分	動物系固	]形不要物		(t)	嫌氮性	75.0
			動物のふ	ん尿	「水雨			75.0 75.0 75.0 75.0 75.0 75.0 75.0 75.0
			動物の死	(体	「光竜・	黙利用重」「先生力ス	(中のメタ」	75.0 参考に10%とした。
			その他の	<b>晶合廃棄物</b> 〕	濃度」を	王入力する。		75.0 10.0
		— ;	温室効	果ガス削減効果 一				────────────────────────────────────
		発生ナ	ゴスの[	回収・焼却の実績を	入力してくた	さい。	発生ガス中のメ	結果報告書より、初期値を設定した。 「発生ガス中のメダン濃度」
			1			発生ガスの焼却量	为上方,从十 (%) 为 / 遗度(%)	初期値は、産業廃棄物処理業の地球温 時代対策事例差(平式20月前時)」と同
		メタノ 破壊	発生ガス	の回収・焼却		(miN)	15.0	「平均値:15.0K」とした。

図 73 活動量の入力画面(最終処分業)

「最終処分量」の入力表では、年度の産業廃棄物の最終処分量を入力します。はじめに、最終処 分量の単位を指定します。単位のセルをクリックすると、選択リストが表示されるので入力する値 の単位を選択します。「最終処分場の種類」も同様に指定します。次に焼却量のセルをクリックし て、セルに直接数値を入力します。「水分割合」「有機成分の割合」も同様に入力します。

「発生ガスの焼却量」の入力表では、はじめに、焼却量の単位を指定します。単位セルをクリッ クすると、選択リストが表示されるので入力する単位を選択します。次に発生ガスの焼却量のセル をクリックして、セルに直接数値を入力します。

C 最	) <b>最終処</b> 終処分場	<b>分業(</b> への最終	<b>廃棄物の最終処分量等)</b> 冬処分量を入力してください。		直を入力	<del>गु</del> ढ.	٦	力単位を	モリストか	ら指定する。
				最終処分1 (湿重重)		最終処分場 の構造	2	×分割合 (%)	有機成分の 割合(%)	
			下水汚泥	100.0	(1)	嫌気性	Ð	70.0		
			製造業有機性汚泥		(t)	準好気性 嫌気性		67.0		
		有機性 汚泥	净水汚泥		(t)	嫌気性			フトからだ	守する
	生		し尿処理汚泥		(t)	嫌気性		,	ストルら作	
	分解		その他(有機無機退合汚泥)		(t)	嫌氮性		67.D	50.0	
	度	¥स< उ			(t)	嫌気性		15.0		
長	棄物	木くず			(t)	嫌気性		45.0		
綿の	の最	繊維くす			(t)	嫌気性		15.0		
分子	終処	動植物性	1残渣		(t)	嫌気性		75.0		
*	分	動物系固	刚形不要物		(t)	嫌氮性		75.0		[]
		動物のふ	ん尿		(t)	嫌氮性		75.0		【有機成分の割合】 初期値は、建設系廃棄物
		動物の列	Ē体		(t)	嫌気性		75.0		の組成分析調査事例を 参考に10%とした。
		その他の	<b>退合廃棄物</b> 〕		(1)	嫌気性		75.0	10.0	

図 74 活動量の入力画面(最終処分量)

<ul> <li>一 温室効果ガス削減効果 一</li> <li>発生ガスの回収・焼却の実績を入力してくだ</li> </ul>	さい。		【水分割合】 環境者の温室効果ガス排出量算定に関する検討 結果報告書より、初期値を設定した。	
	発生ガスの焼却重	発生ガス中のメ タン濃度(%)	【発生ガス中のメタン濃度】 初期値は、「H20年度実態調査結	
メタン 発生ガスの回収・焼却 破壊	(m)	15.0 /	/黒の平均値:15.0%」とした。	

図 75 活動量の入力画面(発生ガスの焼却量)

※本ツールでは、活動量を月別に入力することができます。産業廃棄物の最終処分量を月別に管理していて最終処分量を月別に入力したい場合は、次のページ「(6)最終処分業における最終処分 量等の入力(月別の最終処分量等)」を参照してください。

## (6) 最終処分業における最終処分量等の入力(月別の最終処分量等)

月別の産業廃棄物別、最終処分量等を入力する場合は、「月報・最終」ボタンを押して、最終処 分(月報)画面を表示させて行います。

※最終処分(月報)画面で登録した値は、活動量入力画面の最終処分量及び発生ガスの焼却量に 自動で反映されます。最終処分量に入力値があった場合は、記入用シートから集計した値で上書さ れます。



図 77 最終処分業における月別の産業廃棄物種類別、最終処分量の記入用シート

最終処分業における月別の産業廃棄物別、最終処分量の記入用シートでは、「処分場名(自由記入)」「産業廃棄物種類(リストから選択)」「処分場数」「最終処分量(湿重量)4月~3月」を入力します。「産業廃棄物種類別、処分場数および最終処分量の合計(集計結果)」には、入力した月別の産業廃棄物種類別、最終処分量の合計が自動で表示されます。

※記入用シートは、50件の処分場データを登録できます。入力値は年度ごとに保存します。

(7) 関連施設および構内車両におけるエネルギー使用量の入力

産業廃棄物関連施設および構内車両のエネルギー使用量の入力を行います。本ツールは、入力し た関連施設等のエネルギー使用量から温室効果ガス排出量を算定します。なお、本ツールでは、産 業廃棄物業における温室効果ガス排出量を把握するため、兼業等によって産廃分のエネルギー消費 が切り出し困難な場合は、設定した「産業廃棄物業の占める割合(全売上げに占める産廃業の売上 げ割合等)」をかけて、それを産廃分のエネルギー使用量として算定を行います。

活動量の入力は、燃料種類ごとにセルを分けて行います。入力欄及び選択リストは、水色のセル、 自動で表示、算定する欄は、青色のセルで表示されます。

温室 活動! 平成2	<mark>効果</mark> 星(燃 20年度	ガス 料使用 ま(200	割減支援ツ ■、焼却量、 8年度)	レール 最終処分量等)の。	月有	<ul> <li>入力欄及び選択リストは、水のセル、自動で表示、算定す欄は、青色のセルで表示され</li> </ul>	(色) でる にる。	
OF 産業 使用 (全)	<b>関理胞</b> 藤棄物 したエー 売上げ	設及O  関連施  ネルギー こ占める	▶ <b>備内 単 両 (</b> 段(処理施設、処 -(電気・ガス・燃 産廃業の売上に	<b>主発関連施設の</b> 二 日分場、本社ビル、事業 「料)消費量を入力してく 「割合等)」を設定してくれていた。	⇒注目費量等) 所、事務所等)における、照 ださい。※兼業等により度 ださい。	「産廃業の 入力する。	の全事業に占める割合」を 将の用途に の占める割合」 、(初期値は100%。)	ī
		産業	廃棄物業の占例	)る割合(%)	100.0	利用用途	バイオ燃料 の割金(%)	
	_	電気			60.0 (∓kWh)		0/87 2 (0)	
				用途1	Cinii	ポイラ		
		都市ガス	2	用途2	( <b>f</b> mi)	助想	エイルキー消費量」を人力する。	
				用途3	( <b>f</b> mi)	₹ħ (	(企業全体の活動量を計上する。)	
				用途1	(t)	ボイラー燃料		
		液化天然	然ガス(LNG)	用途2	(t)	助燃剤		
				用途3	(t)	それ以外		
				用途1	0.7 (KJ)	ボイラー燃料		
		軽油		用途2	(H)	助燃剤		
	**			用途3	(kJ)	それ以外		
	施設			用途1	(kl)	ボイラー燃料		
	等の	灯油		用途2	(kJ)	助燃剤		
$\mathbf{M}$			燃料系廉油,潤汁	→→→ ●油系庫油				$\sim$
		廃油	動植物性廃油		(1)			
		木くず			(t)			
		バイオラ	ゼル		(N)		100	
				用途1	(t)	ボイラー燃料		
		RPF		用途2	(t)	それ以外	「バイオ燃料の割合」を入力(	
	構	電気		I	(千kWh)			~
	中車	ガソリン			(kl)			
	۳ ÷	軽油			(k)			
	単機	A重油			(k)			
	<b>*</b> ∪	バイオラ	イーゼル		(k)		100	
※構	汭車両	iへの入:	力の際は、施設	での消費量との二重計	ーーー 上に注意してください。車両を	 区分け出来な	」 い場合は、施設に含めて入力してください。	

図 78 活動量の入力画面 (関連施設)

「エネルギー使用量」の入力表では、年度のエネルギー使用量を入力します。はじめに、エネル ギー使用量の単位を指定します。単位のセルをクリックすると、選択リストが表示されるので入力 する値の単位を選択します。「バイオ燃料の割合(数値入力も可能)」も同様に指定します。次にエ ネルギー使用量のセルをクリックして、セルに直接数値を入力します。「産業廃棄物業の占める割 合」も同様に入力します。

			<b>\</b>		入力単位を	リストから指定する。
	JE(%)	· 100.0				
		エネルギ	消费量	利用用途	の割合(%)	
電気		60.D	(ŦkWh) 🖌			
	用途1		(∓kWh) (kWh)	シラー燃料		
都市ガス	用途2		(fmi)	助燃剤		
	用途3		(fmi)	それ以外		
	用途1		(t)	ボイラー燃料		
液化天然ガス(LNG)	用途2		(t)	助燃剤		
	用途3		(t)	それ以外		
	用途1	0.7	(N)	ボイラー燃料		る値の単位を選択す
軽油	用途2		(M)	助燃剤		、力も可能)
	用途3		(Ы)	それ以外		
	ww	$\sim$				
パイオディー ゼル			(M)		100	
	用诠1		(t)	ボイラー燃料	5	
(1-1-	用途2		(t)	それ以外	$\square$	
- eá,			(手kWh)			
			(N)			
8油			(kl)			

図 79 活動量の入力画面(エネルギー使用量)

※本ツールでは、活動量を月別に入力することができます。関連施設のエネルギー使用量を月別 に管理していてエネルギー使用量を月別に入力したい場合は、次のページ「(8)関連施設および構 内車両における燃料使用量の入力(月別のエネルギー使用量等)」を参照してください。 (8) 関連施設および構内車両における燃料使用量の入力(月別のエネルギー使用量等)

月別のエネルギー種類別、エネルギー使用量を入力する場合は、「月報・関連」ボタンを押して、 関連施設および構内車両(月報)画面を表示させて行います。

※関連施設および構内車両(月報)画面で登録した値は、活動量入力画面のエネルギー使用量に 自動で反映されます。エネルギー使用量に入力値があった場合は、記入用シートから集計した値で 上書きされます。



図 81 関連施設におけるエネルギー種類別、月別、エネルギー使用量の記入用シート

産業廃棄物関連施設における月別のエネルギー種類別、エネルギー使用量の記入用シートでは、 「施設名(自由記入)」「エネルギー種類(リストから選択)」「施設数」「エネルギー使用量4月~3 月」を入力します。「エネルギー種類別、施設数およびエネルギー使用量の合計(集計結果)」には、 入力した月別のエネルギー種類別、エネルギー使用量の合計が自動で表示されます。

※記入用シートは、50件の施設等データを登録できます。入力値は年度ごとに保存します。

## 6. 温室効果ガス排出量の算定

入力した活動量をもとに温室効果ガス排出量の算定を行います。

■温室効果ガス排出量の算定について

<計算の目的>

自らの温室効果ガス排出量を把握し、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを検討する基礎資料として、削減対策の実施を支援することを目的としています。

<計算方法>

温室効果ガス排出量は、活動量の入力画面で入力した活動量(車両の燃料使用量、廃棄物の焼却 量、最終処分量、関連施設及び構内車両の燃料使用量等)に、排出源で特定される排出係数と地球 温暖化係数(GWP)をかけて計算します。温室効果ガス排出量の計算方法は、全国産業廃棄物連合 会低炭素社会実行計画に基づく計算方法を用います。全国産業廃棄物連合会の計算方法は、温室効 果ガス排出・吸収目録(インベントリ)に基づくため、算定・報告・公表制度とは、各排出源に適 用する排出係数が異なります。

<b>〇況</b> 収集	<b>皇室交</b> 運搬調	<b>効果た</b> 業にお	<b>うス排出量の第</b> する温室効果ガス	<b>拿定表</b> (排出)	<b>€</b> 量の算定結果⁻	です。※排出係	数の変更、再	算定が可能です。	排	出係数・発熱	熱量の初期削	2
				t	#料使用重	固有単位当りの 単位参数量(c,)	CO ₂ 排出係数 (*CD-/D-1)		温	室効果ガス	腓出重(tCO₂	)
			ガソリン	10	000 (ki)	34.6	0.0671		232.2		N ₂ O	232.2
			 軽油			37.7						517.2
		燃	LPG		活動量		$-CO_2$	,CH ₄ ,N ₂ O 排出係数	排出			0.0
	収 集	科法	天然力ス(CNG軍振興)				(×i	単位発熱量×GWP)				00
42	運 搬		バイオエタノール		(k)	34.6	0.0671		0.0			0.0
集運	車両		バイオディーゼル		(M)	37.7	0.0686		0.0			0.0
<b>搬</b> 業	n≕ の +₩		ガソリン		(M)	34.6	0.0671		0.0			0.0
	料	燃	軽油		(M)	37.7	0.0686		0.0			0.0
	便用	法	LPG		(t)	50.8	0.0598		0.0			00
			天然力ス(CNG軍爆料)		(Ŧm)	44.8	0.0506		0.0			0.0
		改良	ガソリン		(kl)	34.5	0.0671		0.0			0.0
		法	軽油		(kl)	37.7	0.0686		0.0	$\nearrow$		0.0
		温室交	加果ガス排出重合計	t –					749.4	0.0	0.0	749.4

図 82 収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定画面(算定表)

## 6. 温室効果ガス排出量の算定

## (1) 収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定

入力した燃料使用量から温室効果ガス排出量の算定を行います。算定した温室効果ガス排出量は、 燃料種類別に、排出量の算定表および温室効果ガス排出量グラフで表示されます。

### ① 温室効果ガス排出量の算定表

変更した排出係数、単位発熱量 を初期化する。

<b>〇)</b> 収集	<b>皇室</b> 運搬	<b>効果た</b> 業にお	「ス排出量の第 ける温室効果ガス	<b>京定表</b> 、排出量	」 の算定結果⁻	排出係對	数 <b>、</b> 単位拜	<b>発熱量が入力できる。</b>	Į.	排出(磁力・発熱量の行動化				
				燃	料使用重	固有単位当りの 単位発数量(150)	CO ₂ 排出係数 (+CD ₂ /DJ)			【室効果ガス:	排出重(tCO₂	)		
			ガソリン	100	0.0 (W)	34.5	0.0671		232.2		1420	232.2		
			軽油	200	0.0 (W)	37.7	0.0686		517.2			517.2		
		燃料	LPG		(1)	50.8	0.0598		0.0			00		
	収集	法	天然方入(CNG里振科)		(fm)	44.8	0.0506		0.0			0.0		
42	運 搬	, 、	하르/+스ᆂ	==-+	th Z	34.6	0.0671			一方面	いりょう	z		
集運	車	冶里	別重は日期で	え 小 C		37.7	0.0686		排山里	は日期算	早たされ	, <b>o</b> .		
搬業	0 +**		ガソリン		(M)	34.5	0.0671		0.0			0.0		
	料	燃	軽油		(M)	37.7	0.0686		0.0			0.0		
	使用	法	LPG		(t)	50.8	0.0598		0.0			0.0		
			天然力ス(CNG軍振料)		(fm)	44.8	0.0506		0.0			0.0		
		改良	ガソリン		(M)	34.5	0.0671		0.0			0.0		
		法	軽油		(M)	37.7	0.0686		0.0			0.0		
		温室交	カ果ガス排出重合計	t					749.4	0.0	0.0	749.4		

図 83 収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定画面(算定表)

「収集運搬業における温室効果ガス排出量」の算定表では、入力した活動量から「燃料使用量」 「排出係数」「単位発熱量」および「算定した温室効果ガス排出量」が自動で表示されます。「排出 係数」および「単位発熱量」については、数値を再入力することができます。変更した「排出係数」 および「単位発熱量」を元に戻したい場合は、「排出係数・発熱量の初期化」ボタンを押します。 ボタンを押すと、変更した「排出係数」および「単位発熱量」が初期設定値に戻ります。

※活動量の変更は、「活動量入力」ボタンを押して、表示された活動量の入力画面で行います。

温 収集 平反	<mark> 室効果ガス削減支援ツール</mark> {集運搬業における温室効果ガス排出量の算定 ^z 成20年度(2008年度)									【算定式】 ・燃料使用量×単位発熱 ・CH ₄ 及びN ₂ 0排出量は算:	<b>メイン画面</b> :重×C0 ₂ 排出係数 定対象外			
С Ц	〇温室効果ガス排出量の算定表 収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定結果です。※排出係数の変更、再算定が可能です。 活動													
					燃料使	用重	固有単位当りの 単位発激量(GJ)	CO ₂ 排出係数 (tCO ₂ /GJ)				сн.	N _a O	合計
	E			ガソリン	100.0	(kl)	34.5	0.0671			232.2			232.2
				軽油	200.0	(N)	37.7	0.0686			517.2			517.2

図 84 収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定画面

# ② 温室効果ガス排出量グラフ



図 85 収集運搬業における温室効果ガス排出量算定画面(グラフ)

算定した温室効果ガス排出量は、燃料種類別に積上げ棒グラフで表示されます。

## (2) 中間処理業における温室効果ガス排出量の算定

入力した焼却量・溶融量から温室効果ガス排出量の算定および廃棄物発電、熱利用量より削減量 の算定を行います。算定した温室効果ガス排出量は、産業廃棄物別に、排出量の算定表および温室 効果ガス排出量グラフで表示されます。

変更した排出係数を初期化する。

### 温室効果ガス排出量の算定表

○温室効果ガス排出量の算定表 排出係数の初期化 排出係数が入力できる。 中間処理業における温室効果ガス排出量の算定結果です。※排出 温室効果ガス排出重(tCO,) CH.维由保险 CD-抑出係 CH、地球 温暖化係数 -N₂D排出係数 N_eO地球 温暖化係数 焼却量·溶融量 (tCO;  $(tCH_{\phi}/t)$  $(tN_2O/t)$ 002 CH₄ N20 合計 炉No1 100.0 0.0000140 21 0.00064 310 20.0 20.0 (t)0.0 Т t₽No2 (t)0.0000140 21 0.000882 310 0.0 0.0 0.0 汚 汚泥 泥 炉No3 θ 0.0000140 0.000882 310 0.0 0.0 0.0 21 下水污泥以外 (t) 0.0000140 21 0.000460 310 0.0 0.0 0.0 燃料蒸腐油, 潤滑油 200.0 0.000012 583.8 0.0 0.7 584.6 (t) 2,919 0.0000048 21 310 茶腐油、腐溶剂 廃油 動植物性廉油 0.0000048 0.000012 310 0.0 0.0 nn (f) 21 廃りっ 廃プラネチャウ類、合成ゴム 0.000180 0.2 652.6 250 (t)2,554 0.0000300 21 310 638.5 14.0 スチック くず、合成編建 類 廃タイヤ (f) 1.643 0.0000300 21 0.000180 310 0.0 0.0 0.0 0.0 21 0.000021 310 0.0000220 5 棄 物 排出量は自動算定される。 活動量は自動表示される。 0.0000220 21 0.000021 310 σ 繊維くす (f) 0.0000220 21 0.000021 310 0.0 0.0 0.0 焼 舠 動植物性残渣 0.000021 310 (t)0.0000220 0.0 0.0 0.0 21 溶 動物系固形不要物 θ 0.0000220 21 0.000021 310 0.0 0.0 0.0 融 動物のふん尿 (t) 0.0000220 21 0.000021 310 0.0 0.0 0.0 間 動物の死体  $(\mathbf{t})$ 0.0000220 21 0.000021 310 0.0 0.0 0.0 加加理 特別管理産業廃棄物の腐油 (t) 21 0.000012 310 0.0 2,919 0.0000048 0.0 0.0 0.0 業 鹿感 うち、魔ブラスチック (t) 2,554 0.0000300 21 0.000180 310 0.0 0.0 0.0 0.0 ** ** 物性 _{の原葉}#**  $(\mathbf{t})$ 0.0000220 21 0.000021 310 0.0 0.0 0.0 の魔葉物 Ŧ (温 の θ 2,554 0.000180 310 うち、魔ブラスチック 0.0000300 21 0.0 0.0 0.0 0.0 魔ブラスチック以外 合说 θ 0.0000220 21 0.000021 310 0.0 0.0 οo  $\ominus$  $\overline{\mathbf{v}}$ ~ 

図 86 中間処理業における温室効果ガス排出量の算定画面(算定表)

「焼却に伴う温室効果ガス排出量」の算定表では、入力した活動量から「焼却量・溶融量」「排 出係数」および「算定した温室効果ガス排出量」が自動で表示されます。「排出係数」については、 数値を再入力することができます。変更した「排出係数」を元に戻したい場合は、「排出係数の初 期化」ボタンを押します。ボタンを押すと、変更した「排出係数」が初期設定値に戻ります。

※活動量の変更は、「活動量入力」ボタンを押して、表示された活動量の入力画面で行います。

温室効果ガス削減支援ツール 中間処理業における温室効果ガス排出量の算定 平成20年度(2008年度)	ン画面 (活動量入力) 印刷 「活動量の入力画面
図 87 中間処理業における温室効果ガス排出量の質定画面	

**温 主 効 朱 リ 人 排 山 重 の 昇** / 十间処理未にぬり

## 6. 温室効果ガス排出量の算定

2	2 削減量の算定表					排出係数が入力できる。	排	出量は自	目動算定さ	きれる。
	_	温至効果力ス削減	1921 — 発電重・熱利用重	00 (t0)	D ₂ 排出係数 :D ₂ / 千kWh, :D ₂ / 千kWh,		CO,	温室効果た CH ₄	「ス削減量(tCC N ₂ O	) ₂ ) 合計
	熱発	廃棄物発電	100.0 (∓kWh)		0.555		51	5.5		55.5
	利電用・	廃棄物熱利用	(∓MJ)		0.057		(	200		0.0
		温室効果ガス削減重小調	+				55	.5 0	0.0	55.5
		温室効果ガス排出重合計	† (中間処理業における)	皇室効果ガス排出量小調	計-温室効則	見ガス削減重小計=温室効果ガス排出重合計)	583	.0 0.	.2 69.8	653.1

図 88 中間処理業における温室効果ガス排出量の算定画面(削減量の算定表)

「中間処理業における温室効果ガス削減量」の算定表では、入力した廃棄物発電量、熱利用量か ら「排出係数」及び「算定した温室効果ガス削減量」が自動で表示されます。温室効果ガス排出量 合計には、焼却に伴う温室効果ガス排出量合計から温室効果ガス削減量合計を引いた値が表示され ます。「排出係数」については、数値を再入力することができます。変更した「排出係数」を元に 戻したい場合は、「排出係数の初期化」ボタンを押します。ボタンを押すと、変更した「排出係数」 が初期設定値に戻ります。

### ③ 温室効果ガス排出量グラフ



図 89 中間処理業における温室効果ガス排出量の算定画面(グラフ)

算定した焼却に伴う温室効果ガス排出量および焼却に伴う温室効果ガス排出量から削減量を除 いた温室効果ガス排出量合計は、産業廃棄物別に積上げ棒グラフで表示されます。

# (3) 最終処分業における温室効果ガス排出量の算定

入力した最終処分量から温室効果ガス排出量の算定、回収ガス中の焼却量から削減量の算定を行 います。算定した温室効果ガス排出量は、産業廃棄物別に、排出量の算定表および温室効果ガス排 出量グラフで表示されます。

1	温国	<b>圣効</b> :	果ガス排と	出量の算定表	E				変更した	排出係数	なを初期	化する。	
〇 最新	<b>温室</b> 終処分	<b>効果</b> た 業にお	<b>うス排出量の</b> ける温室効果ガス	<b>算定表</b> ス排出量の算定結果	です。※排出係数の	排出 変更、再算	係数が入	カできる。 t.			排出係数の	Dネ刀其射上	
				最終処分重 (乾重重)			CH ₄ 机曲像数 (th d ₄ /t)	0元地球 温暖化研数		温 CO,	室効果ガス排 CH。	#出重(tCO₂ N₄O	) 合計
		$\square$	下水污泥	30.0 (t)			0.1333	21			84.0	/	84.0
		有総	製造業有機性汚泥	33.0 (t)			0.1500	21			104.0		104.0
		10%	净水污泥	(1)			0.0250	21			0.0		0.0
	生	汚泥	し尿処理汚泥	(1)			0.1333	21			0.0		0.0
	解性廃棄	¥.€< 3	│ <u>₹∞0世(清掃無陽</u> 厚 」」 「話動量に	は自動表示され	いる。		0.1500	21		排出	量は自重	加算定さ	れる。
	物の	*<3		(0			0.1505	21		$\geq$	00		0.0
最	最	繊維く	.ฮ <b>ี</b>	(t)			0.1499	21			0.0		0.0
終処	终処	動植物	》性残渣 	(t)			0.1448	21			0.0		0.0
分業	分	動物系	A固形不要物	(t)			0.1448	21			0.0		0.0
		動物の	りふん尿	(t)			0.1333	21			0.0		0.0
		動物の	り死体	(t)			0.1448	21		$\leq$	0.0	$\leq$	0.0
		その作	也(温合廃棄物)	(t)			0.1505	21			0.0		0.0
		最終效	処分業における温達	図効果ガス排出重小計						0.0	187.9	0.0	187.9

図 90 最終処分業における温室効果ガス排出量の算定画面(算定表)

「最終処分に伴う温室効果ガス排出量」の算定表では、入力した活動量から「最終処分量」「排 出係数」および「算定した温室効果ガス排出量」が自動で表示されます。「排出係数」については、 数値を再入力することができます。変更した「排出係数」を元に戻したい場合は、「排出係数の初 期化」ボタンを押します。ボタンを押すと、変更した「排出係数」が初期設定値に戻ります。

※活動量の変更は、「活動量入力」ボタンを押して、表示される活動量の入力画面で行います。

<mark>温室効果ガス削減支援ツール</mark> 最終処分業における温室効果ガス排出量の算定 平成20年度(2008年度)	メイン画面 (活動量入力) 印刷
	活動量の入力画面

図 91 最終処分業における温室効果ガス排出量の算定画面

## 6. 温室効果ガス排出量の算定

C	<b>?</b> )	削減量の質定表	F		+-		┐ <u>┾</u> ╼	+ 7						
4	~		•		t.	排出係数が入力できる。				排出量は白動質定される				
_	_		_										.1000	
		<u>― 温室効果ガス削減</u>	量											T
			翌生ガラの特却母	発生ガス中の		里重换算 CHL地球				温室効果ガス削減量(tCO ₂ )			)	
			光生月入り流动型	メタン濃度(%)		(a) (a/m ³ N)	温暖化係数			CO ₂	€H₄	N ₂ 0	合計	
	-	<タン 発生ガスの回収・焼却 破壊	5,000.0 (m ⁱ N)	15.0		0.00071	21				11.2		11.2	N
		温室効果ガス削減重小調	+							0.0	11.2	0.0	11.2	
		温室効果ガス排出重合調	† (中間処理業における)	晶室効果ガス排出重小計	一温室効	加果ガス削減重小計	= 温室効果	見ガス排出重合調	+)	0.0	176.7	0.0	176.7	

図 92 最終処分業における温室効果ガス排出量の算定画面(削減量の算定表)

「最終処分業における温室効果ガス削減量」の算定表では、入力した発生ガス中の焼却量から「排 出係数」および「算定した温室効果ガス削減量」が自動で表示されます。温室効果ガス排出量合計に は、最終処分に伴う温室効果ガス排出量合計から温室効果ガス削減量合計を引いた値が表示されま す。「排出係数」については、数値を再入力することができます。変更した「排出係数」を元に戻 したい場合は、「排出係数の初期化」ボタンを押します。ボタンを押すと、変更した「排出係数」 が初期設定値に戻ります。

### ③ 温室効果ガス排出量グラフ



図 93 最終処分業における温室効果ガス排出量の算定画面(グラフ)

算定した最終処分に伴う温室効果ガス排出量および、最終処分に伴う温室効果ガス排出量から削減量を除いた温室効果ガス排出量合計は、産業廃棄物別に積上げ棒グラフで表示されます。

## (4) 産業廃棄物関連施設および構内車両における温室効果ガス排出量の算定

入力した産業廃棄物関連施設および構内車両のエネルギー使用量から温室効果ガス排出量の算 定を行います。算定した温室効果ガス排出量は、エネルギー種類別に、排出量の算定表および温室 効果ガス排出量グラフで表示されます。

#### ① 温室効果ガス排出量の算定表

変更した排出係数、単位発熱量を初期化する。

Ož	○温室効果ガス排出量の算定表 関連施設及び構内車両における温室効果ガス排出量の算定を確率、CFg 本が内田市級の交叉と、日気をかって起こう。														
関連	1.700言文。	及び構内里面に	പോടു	重至効果刀人投 エネルギー使	記堂の :用堂	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	CO_排出係数 (tCO_/GJ,	// ≪ , <del>、 一                                 </del>	CHLADER	. > o N ₂ O排出係数 (tN ₂ O/GJ,	NOLOR	 温1	室効果ガス排	ŧ出重(tCO₂)	
		1				単位発際量(G()	tCO ₂ /医有单位)	tCH₄/圆有单位)	温暖化係数	tN ₂ 0/圆有单位)	温暖化係数	CO2	CH₄	N₂O	合計
		電気		100.0 ( <del>1</del>	EkWh)	$\bigcirc$	0.5550				$\mathbf{v}$	55.5			55.5
			用诠1	(*	fni)	44.8	0.0506	0.00000023	21	0.00000017	310	0.0	0.0	0.0	00
		都市ガス	用途2	(*	fmi)	44.8	0.0506	0.00000230	21	0.00000017	310	0.0	00	0.0	00
			用途3	. (*	fmi)	44.8	0.0506	0.00000230	21	0.00000017	310	0.0	0.0	0.0	0.0
			用途1	<b>1</b>	(t)	54.6	0.0495	0.00000023	21	0.00000017	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		液化天然ガス 用注2			(1)	54.6	0.0495	0.00000230	21	0.00000017	310		00	00	00
		活動量は自動表示される。		) _o	54.5	0.0495	0.00000230		0.00000017	310	排出量	しは自動	算定され	າວ.	
		バイオディーゼル ※co,株出量は、バイオ成分を			(kl)	37.7	0.0686					0.0			0.0
		※CO。排出量は、バイオ成。 使用量から除いて算足。	170405°C 75.		(M)	37.7		0.00000026	21	0.00000019	310		0.0	0.0	00
		DDC	用途1		(Ð		1.585	0.00000350	21	0.00002300	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		ni r	用途2		(t)		1.585	0.00000350	21	0.00002300	310	0.0	0.0	0.0	0.0
	構内	電気		(1	fk₩ħ)		0.5550			1 PPEの漫家効果	# 7##	0.0			0.0
	車	ガソリン			(M)	34.5	0.0671	重の算定で	よ、太枠で	周った排出係数	の単位が	0.0			0.0
	ŝ	軽油			(kl)	37.7	0.0686	日本 単しる必要に して	っとなってし しありませ/	ッタため、単12発 ()。	**#2 Þ	0.0			۵٥
	単機	灯油			(kl)	36.7	0.0678					0.0			0.0
	等	バイオディーゼ	π		(N)	37.7	0.0686					0.0			00
		温室効果ガス排	非出重合計	t			·					326.5	0.0	0.2	326.7

図 94 産業廃棄物関連施設および構内車両における温室効果ガス排出量の算定画面(算定表)

「産業廃棄物関連施設及び構内車両における温室効果ガス排出量」算定表では、入力した活動量 から「エネルギー使用量」「排出係数」「単位発熱量」および「算定した温室効果ガス排出量」が自動 で表示されます。「排出係数」および「単位発熱量」については、数値を再入力することができま す。変更した「排出係数」および「単位発熱量」を元に戻したい場合は、「排出係数・発熱量の初 期化」ボタンを押します。ボタンを押すと、変更した「排出係数」および「単位発熱量」が初期設 定値に戻ります。

※活動量の変更は、「活動量入力」ボタンを押して、表示される活動量の入力画面で行います。

<mark>温室効果ガス削減支援ツール</mark> 産業廃棄物関連施設及び構内車両における温室効果ガス排出量の算定 平成20年度(2008年度)	メイン画面 (活動量入力) 印刷
	活動量の入力画面
図 95 産業廃棄物関連施設および構内車両における温室効果フ	ガス排出量の算定画面

# ② 温室効果ガス排出量グラフ



図 96 産業廃棄物関連施設および構内車両における温室効果ガス排出量算定画面(グラフ)

算定した温室効果ガス排出量は、エネルギー種類別に積上げ棒グラフで表示されします。

## 7. 排出量の経年変化グラフの閲覧

算定した業種別、関連施設等の温室効果ガス排出量の経年変化グラフを閲覧します。閲覧画面で は、登録開始年度から最新年度まで、年度ごとに収集運搬、中間処理、最終処分、関連施設および 構内車両の温室効果ガス排出量の合計がグラフ、一覧表で表示されます。



図 97 年度別、温室効果ガス排出量 (グラフ)

<ul> <li>〇年度別、 定業廃棄物事業      </li> </ul>	〇年度別、温室効果ガス排出量(一覧表) 産業廃棄物事業全体における温室効果ガス排出量の算定結果です。												
			室効果ガス排出重	-									
(年度)	収集運搬業	中間処理業	最終処分業	関連施設及び構内 車両	事業合計	前年度からの 増加率							
1990	100.0	200.0	150.0	50.0	500.0								
1991	0.06	190.0	140.0	45.0	465.0	-7.0%							
1992	0.08	180.0	140.0	50.0	450.0	-3.2 <b>%</b>							
1993	70.0	180.0	140.0	45.0	435.0	-3.3 <b>K</b>							
1994	0.08	190.0	130.0	50.0	450.0	3.4 <b>%</b>							
1995	0.06	200.0	130.0	45.0	465.0	3.3%							
1996	0.08	180.0	130.0	50.0	440.0	-5.4%							
1997	0.06	190.0	130.0	0.06	470.0	6.8 <b>%</b>							
1998	0.06	190.0	140.0	50.0	470.0	0.0%							
1999	70.0	190.0	130.0	40.0	430.0	-8.5 <b>%</b>							
2000	70.0	180.0	130.0	40.0	420.0	-2.3%							
2001	70.0	180.0	130.0	40.0	420.0	0.0%							
2002	70.0	180.0	130.0	40.0	420.0	0.0%							
2003	70.0	170.0	130.0	35.0	405.0	-3 <b>5 K</b>							
2004	70.0	170.0	120.0	35.0	395.0	-2.5%							
2005	70.0	170.0	120.0	40.0	400.0	1.3%							
2006	70.0	170.0	120.0	35.0	395.0	-1.3%							
2007	70.0	170.0	120.0	40.0	400.0	1.3%							
2008	70.0	170.0	120.0	35.0	395.0	-1.3%							

図 98 年度別、温室効果ガス排出量(一覧表)

## (1) 表示年度の変更

グラフおよび一覧表の表示する年度の範囲を変更する場合は、温室効果ガス排出量算定結果の閲 覧画面で「表示年度の変更」ボタンを押します。ボタンを押すと表示される表示年度の変更画面か ら、表示したい年度の開始と終了をリストから指定して、「表示年度の変更」ボタンを押します。 閲覧画面に戻り、指定した年度の範囲でグラフおよび一覧表が表示されます。



## 8. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算を行います。 ※削減効果の試算は、年度ごとにデータの保存を行っていません。複数のケースで試算を行う場 合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください。

■地球温暖化対策の実施による削減効果の試算について

<試算の目的>

温室効果ガス排出量の削減対策を実施・検討する前に、削減対策により得られる効果を予測する こと、また、温室効果ガス排出量の削減対策を実施した後に、対策によってどれくらいの削減効果 が得られているのか検証することを目的としています。

<計算方法>

削減効果は、「(対策を実施する前の排出量)-(対策を実施した場合の排出量)」により、その 効果を計算します。あくまで低炭素社会実行計画に基づく効果を試算するものであり、国内クレ ジット制度とは異なります。実際の計算例は、「産業廃棄物処理業の地球温暖化対策事例集」に掲 載しています。

一地球温暖化対策の実施による削減効果の試算を行う場合一



図 101 削減効果の試算を行う場合の操作手順

## (1)地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果の試算画面では、上段にある地球温暖化対策一覧から実施する対策にチェックを入れる と、対策に対応した試算シートが表示されます。表示された試算シートに必要な値を入力すると、 対策を実施した場合の削減効果が自動で算定されます。入力欄及び選択リストは、水色のセル、自 動で表示、算定する欄は、青色のセルで表示されます。

💑 和国法人 全国產業廃棄物連合会		_										
温室効果ガス削減支援ツール			メイン画面の規制関係の日本の目的の目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目的目									
地球温暖化対策の実施による削減効果の試算		-										
<ul> <li>○削減効果の試算表について</li> <li>下記一覧から削減効果を試算する対策にチェックを入れてください。対策に対応する試算表が表示されます。</li> <li>表示した削減表に必要な値を入力することで、削減効果が自動で算定されます。</li> <li>✓ 地球温暖化対策 ─────</li> </ul>												
地球温暖化対束 □ 選別率の向上 □ 産業廃棄物を原料とした燃料・製品製造 □ 廃棄物発電設備の導入 □ 廃棄物熱利用設備の導入 □ 生分解		<ul> <li>□ 最終処分場周辺地及び</li> <li>□ 収集運搬時の燃料使用</li> <li>□ バイオマス燃料の使用</li> <li>□ パイオマス燃料の使用</li> <li>□ 省エネルギー行動の実</li> <li>□ 器への買い替え</li> </ul>	び処分場跡地の緑化 用量削減 闘、省エネルギー機 排出係数を表示									
○選別率の向上 選別率の向上により、単純焼却を回避した産業廃棄物の焼却に伴	う温室効果ガス排出量を削減効果。	Eavalat.										
	対応する対策の試算シートが表示される。											
世団法人全国産業廃棄物進合会     「「」「」」     「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「」     「     「」     「」     「」     「     「」     「」     「     「     「」     「     「     「     「     「     「     「       「			メイン画面の効果閲覧の印刷									
○削減効果の試算表について 下記一覧から削減効果を試算する対策にチェックを入れてくださ 表示した削減表に必要な値を入力することで、削減効果が自動 の地球問題化なけ等。	N、。対策に対応する試算表が表 で算定されます。	示されます。										
□ 選別率の向上□ 下水汚	尼炉における燃焼の高度化	□ 最終処分場周辺地及び	拠分場跡地の緑化									
□ 産業廃棄物を原料とした燃料・製品製造 □ 準好気	性埋立構造の採用	□ 収集運搬時の燃料使										
□ 廃棄物発電設備の導入 □ 最終処3	分場発生ガスの回収・焼却 - ・・・・・・	□ バイオマス燃料の使用										
	最終処分場管理 時度衰失の調査品の ^{2011年}	□ 省エネルギー行動の □ 器への買い替え	のセル、目動で表示、算定する									
□ 廃来物熟料用設備の導入 □ 生分解	生廃来初の理立重の削減		欄は、青色のセルで表示される。									
○廃棄物発電設備の導入 産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力利用することに	試算シートに値をノ		します。 試算結果は自動算定される。									
▼入力(運転時間、施設の発電出力)												
	運転時間 電気出 (N/年) (kW)	力 発電効率 (%)	発電量 (千kWh) ▼(tco_)									

図 102 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算画面

### ① 選別率の向上

産業廃棄物種類別の「受入量」「選別率(対策前、対策後)」「水分割合」を入力欄(水色セル) に入力します。「焼却回避量」および「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

<ul> <li>○選別率</li> <li>選別率</li> </ul>	率の)向上 の向上により、単純焼却を回避した産業廃棄物の焼却に伴う; 値(受入量、遥別率)	温室効果ガス排出重	を削減効果とみなしま	「受 後)」	入量」「選別 「水分割合」	」率(対策前、 」を入力する	· 対策
		受入重 (t)	選別: 計等前	率(%) 村笠落	水分割合 (%)	焼却回避重 (t)	削減効果 (tCO ₂ )
	廃プラスチック類(廃プラスチック類、合成ゴム(ず)	200.0	84.0 <b>%</b>	94.0%		20.0	52.2
焼		100.0	84.0 <b>%</b>	94.0 <b>%</b>	5.0	10.0	17.2
ਭ	अस्< व"	100.0	84.0 <b>%</b>	94.0 <b>%</b>		10.0	0.1
つ   産	<b>क</b> ्ष	100.0	84.0 <b>%</b>	94.0 <b>%</b>		10.0	0.1
業	繊維くず		[			0.0	0.0
廃	動植物残渣					0.0	0.0
物	動物系圖形不要物					0.0	0.0
種類	動物のふん尿					0.0	0.0
	動物の死体				$\square$	0.0	0.0
	合計						69.6

図 103 選別率の向上

## ② 産業廃棄物を原料とした燃料・製品製造

産業廃棄物種類別の「原料として利用した量」「水分割合」を入力欄(水色セル)に入力します。 「焼却回避量」および「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

○産業履	産物を原料とした燃料・製品製造					
産業廃: ▼入力:	棄物を原料とした燃料・製品を製造することにより、単純焼却: 値(原料投入量)	を回避した産業廃棄物	9の焼却に伴う温室9	物果ガス排(世界を)	原料として利用した量」	
		原料として 利用した量(t)	水分割合 ( <u>K)</u>	焼刮回 (t)	水分割合」を入力する。	削減効果 (tCO ₂ )
	汚泥(下水汚泥)				·	0.0
	汚泥(下水汚泥以外)			0.	2	0.0
	廃油(燃料系廃油、潤滑油系廃油、水系廃油)			0.	2	0.0
□ □ □	廃油(動植物性廃油)	200.0		200.	3	0.8
科市	廃プラスチック類(廃プラスチック類、合成ゴムくず)	500.0		500.	0	1,305.2
と ^れ かず	廃プラスチック類(廃タイヤ)	200.0	5.0	200.	2	344.4
3	<b>अ</b> ्व			0.	3	0.0
產 業 製	木くす			0.	3	0.0
廉品	繊維くず			0.	3	0.0
棄髪	動植物残渣			0.	3	0.0
170	動物系固形不要物			0.	3	0.0
	動物のふん尿	500.0		500.	3	3.5
	動物の死体			0.	0	0.0
	特別管理産業廃棄物の廃油			0.	3	0.0
	- 송計				·	1,653.8

図 104 産業廃棄物を原料としたエネルギー利用(原料投入量)

【燃料・製品とは】

廃棄物を原料として製造された燃料・製品(RPF、廃プラスチック類(鉄鋼原料・セメント原料・ ガス化・油化・チップ)、廃タイヤチップ、廃油精製・再生、バイオ燃料、木くずチップ、肥料・飼料など)のことです。廃棄物を原料として有効利用することにより、単純焼却量が削減されるため、 温室効果ガス排出量を削減することができます。

#### ③ 廃棄物発電設備の導入

廃棄物発電設備の「運転時間」「電気出力」「発電効率」を入力欄(水色セル)に入力します。「発 電量」および「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

<ul> <li>○廃棄物発電設備の導入</li> <li>産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力利用することによい</li> <li>▼入力(運転時間、施設の発電出力)</li> </ul>	火 その発電量に相当	áする温室効果ガス排	山 「運転時 効率」を	時間」「電気出 を入力する。	出力」「発電	
	運転時間 (h/年)	電気出力 (kW)	発電効率 (%)	発電量 (千kWh)		削減効果 (tCO ₂ )
廃棄物発電	700.0	200.0	10.0	14.0		7.5

図 105 廃棄物発電設備の導入

#### ④ 廃棄物発電設備の発電効率の向上

廃棄物発電設備の「運転時間」「電気出力」「発電効率(従来方式、対策後)」を入力欄(水色セル)に入力します。「増加した発電量」および「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

○廃棄物発電設備の発電効率の危 廃棄物発電設備の発電効率の向上により	_{とみれ} 「運転[	「運転時間」「電気出力」「発電効率				
▼入力値(運転時間、施設の発電出力)			(従来)	方式、対策後	後)」を入力す	る.
	運転時間	電気出力	光電効	]索(%)	増加した発電量	削減効果
	(h/年)	(kW)	従来方式	対策後	(∓kWh)	(t00 ₂ )
廃棄物発電	<b>680</b> 0	100.0	10.0	20.0	6.8	3.2

図 106 廃棄物発電設備の発電効率の向上

### ⑤ 廃棄物熱利用設備の導入

廃棄物熱利用設備の「運転時間」「熱出力」を入力欄(水色セル)に入力します。「熱供給量」お よび「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

○廃棄物熱利用設備の導入			「運車	「運転時間」「熱出力」を入		
産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して熱利用することによりその熱利用量に相当する温室効果ガス排出量を				7		
▼入力値(運転時間、施設の供給重)			J9 a	5.		
	運転時間	熱出力	熱利用重		削減効果 (400-)	
		(MJ/h)	(60)		(1002)	
廃棄物熱利用	560.0	7,000.0	3,920.0		223.4	

図 107 廃棄物熱利用設備の導入

## ⑥ 下水汚泥焼却炉における燃焼の高度化

燃焼温度の高度化(850℃以上)を行う焼却炉の「下水汚泥焼却量」を入力欄(水色セル)に入 力します。削減効果は、入力した値から自動で算定されます。

※この試算では、焼却炉は「流動床炉」、凝集剤には「高分子凝集剤」を使用していると仮定しています。



図 108 下水汚泥焼却炉における燃焼の高度化

## ⑦ 準好気性埋立構造の採用

準好気性埋立処分場への「最終処分量(湿重量)」「水分割合」を入力欄(水色セル)に入力しま す。「最終処分量(乾重量)」および「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

○準好象	気性埋立構造の採用 ************************************	ᇉᆁᇫᇿᇈᇎᅮᄢᆙᄚᆿ		- 40 Ш - to 7 .	「最終処分量(湿重量)」「水分割合」			
⊈913√1 _▼入力1	住理立構造を採用することにより、嫌気性理立構造を採用し 値(最終処分量)	に場合と比べて削減さ	れる東熱処分場が	5#11131	を入力	する。		
		最終処分量 (湿重重)(t)	水分割合 (%)	最終処分量 (乾重重)(t	:		削減効果 (tCO ₂ )	
	下水汚泥	<b>1</b> 50	70.0		4.5		6.3	
最	製造業有機性汚泥	5.0	70.0		1.5		2.4	
終	净水汚泥				0.0		0.0	
処分	し尿処理汚泥				0.0		0.0	
ਰ	その他(有機無機湿合汚泥)		70.0		0.0		0.0	
	紙くず	25.0	70.0		7.5		203.9	
- 分	木くず	25.0	70.0		7.5		11.8	
解	繊維くず	25.0	70.0		7.5		11.8	
廃	動植物性残渣	5.0	70.0		1.5		2.3	
棄	動物系固形不要物		70.0		0.0		0.0	
100	動物のふん尿		70.0		0.0		0.0	
	動物の死体		702		0.0		0.0	
							238.5	

図 109 準好気性埋立構造の採用

#### ⑧ 最終処分場発生ガスの回収・焼却

処分場で発生するガスの回収・焼却処理設備の「発生ガスの回収・焼却量」「発生ガス中メタン 濃度」を入力欄(水色セル)に入力します。「メタンの回収・焼却量」および「削減効果」は、入 力した値から自動で算定されます。

○最終処分場発生ガスの回収・焼却 最終処分場で発生ガスの回収・焼却を行うことにより、回収・焼却され	ったガス中のメタンのシ	温室効果ガス排出症	を削減 ス中ン	Eガスの回収 くタン濃度」	・焼却量」「 を入力する。	発生ガ	
▼入力値(回収・焼却量)							_
	発生ガスの回床 発生ガス中 重量換算係数 メタンの 削 焼却量(m [®] N) メタン濃度(%) (t/m [®] N) 回収・焼却量(t) (0						
処分場で発生するガスの回収・焼却処理	946,080.0	20.0	0.00071	135.2		2,838	8.2

図 110 最終処分場発生ガスの回収・焼却

## ⑨ 適正な最終処分場管理(法令等に基づく適正な覆土施工、浸出水排水管の水位管理・維持管理、 ガス抜き管の延伸工事等)

適正な管理を行っている最終処分場での生分解性廃棄物の「最終処分量(湿重量)」「水分割合」 を入力欄(水色セル)に入力します。「最終処分量(乾重量)」および「削減効果」は、入力した値 から自動で算定されます。

<ul> <li>○適正な</li> <li>適正な</li> <li>ことによ</li> <li>削減効</li> <li>▼入力:</li> </ul>	○個正な取称処分場管理(法令等に基づく通正な覆土施工/浸出水集排水管の水位管理・維持管理/計画的なガス構 造正な最終処分場管理(法令等に基づく通正な覆土施工/浸出水集排水管の水位管理・維持管理/計画的なガス構 ことにより、通正な最終処分場管理が行われなかった場合から通正な最終処分場管理を行った場合に、削減される最 削減効果とみなします。 ▼入力値(最終処分量)									
		最終処分重 (湿重重)(t)	水分割合 (%)	最終 (乾)	◎処分量 重量)(t)		削減効果 (tCO ₂ )			
	下水汚泥	30.0	70.0		9.0		12.6			
最	製造業有機性汚泥	25.0	70.0		7.5		11.8			
終	净水汚泥				0.0		0.0			
分	し尿処理汚泥				0.0		0.0			
ਭ	その他(有機無機温合汚泥)	15.0	70.0		4.5		7.1			
る生	¥स< उ"	5.0	70.0		1.5		2.1			
	॑त≺उ	15.0	70.0		4.5		7.1			
解	繊維くず	5.0	70.0		1.5		2.4			
廃	動植物性残渣				0.0		0.0			
棄	動物系固形不要物				0.0		0.0			
170	動物のふん尿				0.0		0.0			
	動物の死体			)	0.0		0.0			
	合計						43.1			
※「漫出 が準 ※「法令 ゼロ										

図 111 適正な最終処分場管理

⑩ 生分解性廃棄物の埋立量削減(選別率の向上、選別排出の促進、直接最終処分の削減)

生分解性廃棄物の「最終処分量(湿重量)(対策前、対策後)」「水分割合」を入力欄(水色セル) に入力します。「削減した最終処分量(乾重量)」および「削減効果」は、入力した値から自動で算 定されます。

<ul> <li>○生分解 最終処分</li> <li>▼入力(</li> </ul>	科性廃棄物の埋立量削減(選別率の向上、選別推 含される生分解性廃棄物の量を削減することにより,削減され 値(最終処分量)	非出の促進、直接 た最終処分場から排	接最終処分の削 ≹出されるメタンの温	減) ^{室効果ガス}	「最終処分量(湿重量)(対策前、対 策後)」「水分割合」を入力する。			
		最終処分重(	湿重量)(t)	水分割		A/11 7 A \/ 11		(100.)
		対策前	对策後	60		単(乾里単)(1)		(1002)
	下水汚泥	280	28.0		70.0	ā.0		0.8
最	製造業有機性汚泥	25.0	20.0		70.0	1.5		2.4
終	净水汚泥				70.0	0.0		0.0
処分	し尿処理汚泥					0.0		0.0
ਭ	その他(有機無機温合汚泥)					0.0		0.0
る	अस्< व"	15.0	10.0		15.0	4.3		6.1
分	<b>त्त</b> < <b>र्ग</b>	5.0	3.0		45.0	1.1		1.7
解	繊維くず	15.0	10.0		15.0	4.3		6.7
廃	動植物性残渣	5.0	3.0		75.0	0.5		0.8
棄	動物系固形不要物				75.0	0.0		0.0
物	動物のふん尿				83.0	0.0		0.0
	動物の死体				75.0	0.0		0.0
	合計							18.5

図 112 生分解性廃棄物の埋立量削減

### ① 最終処分場周辺地および処分場跡地の緑化

緑化を行った最終処分場周辺地および処分場跡地の「公園・植林面積」「面積あたりの高木本数」 を入力欄(水色セル)に入力します。「高木本数」および「削減効果」は、入力した値から自動で 算定されます。

○最終処分場周辺地及び処分場跡地の緑化				「公	園 · 植林面积	責」「面積あた	-
最終処分場周辺及び処分場跡地の緑化活動により、植林された樹木 ▼3.力値(公園面接、面積あたりの高木本数)	による二酸化炭素の	0吸収分に相当する)	呈室効果	<b>り</b> の	高木本数」を	を入力する。	
	公園· 植林面積 (ha)	面積あたり 高木本数(本/ha)	高; (	木本数 (本)	吸収原単位 (tCO ₂ /本/年)		削減効果 (tCO ₂ )
最終処分場周辺地及び処分場跡地の緑化	7.6	203		1,543	0.033		50.9

図 113 最終処分場周辺地および処分場跡地の緑化

① 収集運搬時の燃料使用量削減(アイドリングストップ、エコドライブ関連機器の導入、低公害型車両の導入等)

収集運搬車両の「燃料使用量(対策前、対策後)」を入力欄(水色セル)に入力します。「削減し た燃料使用量」および「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

○収集運搬時の燃料使用量削減(アイドリングストップ、エコドライブ関連機器の導入、低公害型車両の導入等)									
収集 削減	収集運搬時の燃料使用量削減の取組みにより、削減された燃料使用量に相当する温室効果ガス排出量を削減効果 削減効果の試算は、対策前後の「燃料使用量」または「燃要」の2つ方法で行うことができます。								
<u>▼</u> 入	▼入力値(燃料使用量) 後)」を入力する。								
		燃料使用重	(固有単位)		削減効果				
		対策前	対策後	(固有単位)		(t00 ₂ )			
車	双 ガソリン(N)	20.0	18.0	2.0		4.5			
両	∝ 義 軽油(kl)	35.0	30.0	5.0		12.9			
燃	LPG(t)	15.0	12.0	3.0		9.1			
1-1	** 天然ガス(CNG車燃料)(千m [®] )	15.0	140	1.0		2.3			
	合計					28.9			

図 114 収集運搬時の燃料使用量削減

収集運搬車両の「台数」「走行距離」「燃費(対策前、対策後)」を入力欄(水色セル)に入力し ます。「削減した燃料使用量」および「削減効果」は、入力した値から自動で算定されます。

▼入力	値(台数、走行距離、燃喪)			「台 策前	数」「走行距 、対策後)」	離」「燃費( を入力する。	·
		台数	走行距離	削減した 燃料使用量	削減効果		
			(km/年/台)	対策前	対策後	(固有単位)	(t00 ₂ )
車収	ガソリン(W)	15	20,000	4.0	4.2	3.6	8.2
両集	軽油(kl)	50	10,000	4.0	4.1	3.0	7.9
燃運	LPG(t)	20	500	3.8	3.9	0.1	0.2
1-1 182	天然ガス(CNG車燃料)(千m ⁸ )	15	250	3.2	3.3	0.0	0.1
	合計						16.3

図 115 収集運搬時の燃料使用量削減

### 13 バイオマス燃料の使用

対策効果を事前に試算する場合は、使用した燃料の「ディーゼル・ガソリン燃料使用量」「バイ オ成分割合」を入力欄(水色セル)に入力します。対策効果を事後に試算する場合は、バイオマス 燃料の「バイオマス燃料使用量」「バイオ成分割合」を入力欄(水色セル)に入力します。「削減効 果」は、入力した値から自動で算定されます。

○バイオマス燃料の使用 バイオマス燃料の使用により代替された燃料の使用量に相当する※ ■お約2000年またがごがまする根金/ごの、だいよりいりた用意しい。	量室効果ガス排出重:		「ディーゼル   合」を入力	・ガソリン燃 する。	料使用量」「	バイオ成分
▼対先効果で単約に改革する場合(ティービル・カラウン使用重よの	ディーゼル・ガソリ ン使用量(N)	バイオ成分割合 (K)	バイオエタノール 湿合率(M)	バイオエタノール 混合ガソリン 発熱量(MJ/I)		削減効果 (tCO ₂ )
バイオディーゼル(BDF)の使用(軽油代替)	<b>~</b> 100.0	5.0				12.9
バイオエタノール混合ガソリン(ETBE-7)の使用(ガソリン代替)	100.0					
バイオエタノール湿合ガソリン(E3)の使用(ガソリン代替)			バイオマス	然料使用量」	「バイオ成分	諸台」を人
송計			する。			
▼対策効果を事後に試算する場合(バイオマス燃料使用量より計算)	)					
	バイオマス燃料 使用量(k)	バイオ成分割合 (%)	バイオエタノール 混合率(%)	バイオエ&ノール 温合ガソリン 発熱量(MJ/I)		削減効果 (tCO ₂ )
バイオディーゼル(BDF)の使用(軽油代替)		5.0				0.0
バイオエタノール混合ガソリン(ETBE-7)の使用(ガソリン代替)	0.06		7.0	34.1		11.5
バイオエタノール混合ガソリン(E3)の使用(ガソリン代替)	0.08		3.0	34.2		3.4
송計						15.0

図 116 バイオマス燃料の使用

## (1) 省エネルギー行動の実践、省エネルギー機器への買い替え

省エネルギー行動の実践や省エネルギー機器への買い替えの対策前後の「エネルギー使用量(対 策前、対策後)」を入力欄(水色セル)に入力します。「削減効果」は、入力した値から自動で算定 されます。

○省エネ 省エネ)	トルギー行動の実践、省エネルギー機器へ レギー行動の実践、省エネルギー機器への買い替え! 値(エネルギー使用量)	の買い替え こより、削減されたエネルギ [、]	- 使用重に相当する	温室効	「エキ」 対策後	ネルギー使用量(対策前、 後)」を入力する。	
		エネルギー使用	1重(固有単位)	肖 エネル	)) 頑した /ギー使用量		削減効果
		対策前	対策後	(固	有単位)		(1002)
_T	電氦(千kWh)	50.0	40.0		10.0		5.6
ネ	都市ガス(千m ³ )	50.0	40.0		10.0		22.7
JI.	液化天然ガス(LNG)(千m ⁸ )	10.0	5.0		5.0		13.5
<del>+</del> 	軽油(W)	10.0	5.0		5.0		12.9
	灯油(W)	10.0	5.0		5.0		12.5
電	A重油(k)	10.0	5.0		5.0		13.6
•	C重油(W)	10.0	5.0		5.0		15.0
<i>1</i>	LPG(t)	10.0	5.0		5.0		15.2
1.	石炭(t)	10.0	5.0		5.0		11.7
燃	コークス(t)	10.0	5.0		5.0		15.9
14	廃油(t)	2.0	1.5		0.5		1.5
	木くず(t)	100.0	80.0	)	20.0		0.5
	合計						140.5

図 117 省エネルギー行動の実践、省エネルギー機器への買い替え
#### (2) 試算に用いた排出係数の表示

削減効果の試算画面では、上段の地球温暖化対策一覧にある「排出係数を表示」ボタンを押すと、 試算に用いた排出係数が表示されます。再度ボタンを押すと、排出係数は非表示となります。

温室効果ガス削減支援ツール					メイン画面	効果閲覧	印刷
地球温暖化対策の実施による削減効	果の試算						
스 씨날 참 표고 달 쓸 보니 고 나 것							
〇 <b>門                                   </b>	フを入れてください。対策に対応	「する試質表がま	示されます。				
表示した削減表に必要な値を入力することで、削	減効果が自動で算定されます	`o					
□ 選別率の向上	□ 下水汚泥炉における燃	焼の高度化	🗆 最終如	1分場周辺地	及び処分場跡地の	)緑化	
□ 産業廃棄物を原料とした燃料・製品製造	□ 準好気性埋立構造の採	網	🗆 収集減	■搬時の燃料	使用量削減		
☑ 廃棄物発電設備の導入	🔲 最終処分場発生ガスの	回収・焼却	□ バイオ	マス燃料の個	明		
□ 発電効率の向上	□ 適正な最終処分場管理	ł	口当れ	いギー行動の	D実践、省エネル=	ギー機	
□ 廃棄物熱利用設備の導入	□ 生分解性廃棄物の埋む	Ζ量の削減	88.00	/AUGA	,排山低新水	a=-	
				/	194111177272	13(0)1(	
○廃棄物発電設備の導入				「排出係	数を表示」	ボタンを押す	<b>5</b> .
産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電ナ	1利用することにより、その発電量	に相当する温室交	カ果ガス排出	CHIMAN HEC	mavas		
▼入力(運転時間 施設の発委出力)							
	運転時間	1 電気3	5 <del>5</del>	発電効率	発電量		削減効果
	(h/年)	(kW		(K)	(手kWb)		
				1.42	× 1 0007		(tCO ₂ )
		0007	200.0	10.0	14.0		(tCO ₂ ) 7.8
		0001	200.0	10.0	14.0		(tCO ₂ ) 7.8
		700.0 <u> </u>	200.0	10.0	14.0		(tCO ₂ ) 7.8
廃棄物発電			200.0	10.0 10.0	140	が表示される	(tco ₂ ) 7.8 3.
<u>虜</u> 棄物発電			0.002	100 100	140 140	が表示される	(tco ₂ ) 7.8 3.0
▲ 「「「「「「」」」」。 ▲ 「「」」 ▲ 「」」 ▲ 「」」 ● 廃棄物発電設備の導入			0.009	10.0 【算に用い	140 140	が表示される	(100 ₂ ) 7.8 30
<ul> <li>廃棄物発電</li> <li>○廃棄物発電設備の導入</li> <li>産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力3</li> </ul>		7000)	2000 言 見 現力ス排出量で	10.0 【算に用し ^{(調)減効果とみ}	<u>140</u> )た排出係数 _{なします。}	が表示される	(tco ₂ ) 7.8 る。 ⁻ ⁻ 
<ul> <li>廃棄物発電</li> <li>○廃棄物発電設備の導入</li> <li>産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力</li> <li>▼入力(運転時間、施設の発電出力)</li> </ul>	利用することにより、その発電堂1:	7000 二相当する温室効!	2000	10.0	<u>140</u> いた排出係数 _{なします。}	が表示される	(too ₂ ) 7.8 ろ。 電気事業者 その他(デフォルト値)
廃棄物発電 ○廃棄物発電設備の導入 産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力和 ▼入力(運転時間、施設の発電出力)	i)用することにより、その発電量1 遅転時間	7000 ゴ相当する温室効: 電気出:	2000 [j] 果ガス排出量7 为 <u>発</u>	10.0	140 )た排出係数 _{なします。}	が表示され	(tOO ₂ ) 7.8 ろ。
廃棄物発電 ○廃棄物発電設備の導入 産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力報 ▼入力(運転時間、施設の発電出力)	i)用することにより、その発電量 ; (ト/年)	7000	2000 []] 果ガス排出量? わ 発	10.0 10.0 式算に用し ご削減効果とみ 電効率 (M)	140 140 )た排出係数 なします。 ^{発電量} (千kWh)	が表示され	(tOO ₂ ) 7.8 ろ。 での他(デフォルト値) CO ₂ 排出係数 (tOO ₂ /千kWh)

図 118 試算に用いた排出係数の表示

なお、「廃棄物発電設備の導入」「廃棄物発電設備の発電効率の向上」「省エネルギー行動の実践、 省エネルギー機器への買い替え」の対策の試算で用いている「電気の二酸化炭素排出係数」について は、電気事業者の選択リストから該当する電気事業者を指定し、その電気事業者の排出係数で試算す ることができます。選択リストにない排出係数を用いる場合は、「その他(ユーザー設定値)」を選択 し、水色のセルに値を入力します。

電気事業者	<b>]</b> 電気
東京電力(株)	<b>↓</b> pi
その他(ユーザー設定値) その他(代替値) 北海道電力(株) 東北電力(株) 東京電力(株) - 中部電力(株) 北陸電力(株) 関西電力(株)	

図 119 電気事業者の選択リスト

8. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

### (3) 試算した削減効果の換算結果の閲覧

試算した削減効果の閲覧画面では、地球温暖化対策の実施による削減効果の試算画面で試算した 削減効果の合計およびその合計を「森林面積」や「電気使用量」に換算した結果が表示されます。 また、換算結果の「森林面積」を「東京ドーム」の個数に換算した結果と、「平均的な家庭の電気 使用量」を原油換算して「ドラム缶」の本数に換算した結果も表示されます。



図 120 試算した削減効果の閲覧画面

#### 9. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力

算定・報告・公表制度の算定方法に基づき、温室効果ガス排出量の算定を行います。また、算定 結果を報告様式(様式第1)に印字した印刷イメージの出力を行います。

■算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力について

<出力の目的>

報告対象規模業者(特定事業者)は、改正された地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法) に基づく報告を行うため、報告対象規模でない事業者は、温対法に基づく排出量を試算するために 利用します。

<対象となる温室効果ガスと事業者>

算定は、算定・報告・公表制度の温室効果ガス排出量の算定方法に基づき行います。全国産業廃 棄物連合会の低炭素社会実行計画に基づく算定方法とは、各排出源に適用する排出係数が異なりま す。

社園法人 当		「「「」 ● 米小→● →= →=●						<u>/</u>	<mark>₩-₽-ш</mark>		(nBi
<mark>ミン制制</mark> ミ・報告 20年)	►/// 〒公子 度(20	く <u>則減又</u> 援 長制度用の排 108年度)	ツール 出量算定							·/J	C17001
温室如	幼果ガ	スである物質の区	分			温室効果ガス算定排出量	挑	出係数・発酵	熱量の初期	明化	
1.I	ネルギ	ーの使用に伴って	て発生する二酸化炭	索		0 tCO ₂					報告年度
2.I	ネルギ	ーの使用に伴って	て発生する二酸化炭素	素以外の二酸	七炭素	0 tCO ₂	報行	告年度の活	動量をコピ		2008
3. ×	えン					0 tCO ₂					コピー元
4.→	酸化二	窒素				0 tCO ₂	過	去の報告う	ドーダをコヒ	<u>-</u>	2007
		ガソリン	燃料使用量 	固有単位当りの 単位発熱量(GJ) 34.6	CO ₂ 排出係数 (tCO ₂ /GJ)			温 CO2	室効果ガス3 CH₄ 0.0	腓出堂(tCO) N₂O	2 ⁾ 合計
			燃料使用量 	回有车间1900 単位発際量(GJ)	(tCO ₂ /GJ)			CO ₂	CH4	N ₂ 0	· 合計
		ガソリン	(k)	→ 34.6	0.0671			0.0	0.0	0.0	0,
		軽油 	(Yỹ ML)	38.2	0.0686			0.0	0.0	0.0	0,
収集	^炳 料 法	LPG 天然力ス(CNG軍機等		50.2		O₂,CH₄,N₂O 排出係数	┢	0.0			0.
運搬		バイオエタノーリ	沽劃重			×畄位発執号×GMP)			:	排出重	0.
車		バイオディーゼル		38.2							0.
0		ガソリン		34.6	0.0671			0.0	0.0	0.0	0.
科	燃	軽油		38.2	0.0686			0.0	0.0	0.0	0,
便用	法	LPG		50.2	0.0598			0.0	0.0	0.0	0.
		天然力ス(CNG軍振祥)		41.1	0.0506			0.0	0.0	0.0	0)
	改良	ガソリン		34.6	0.0671			0.0	0.0	0.0	0)
	A 10 AMERICA				0.0505			0.0	0.0	0.0	0
	法	軽油		38.2	0.0000			0.0	0.0	0.0	~~

図 121 算定・報告・公表制度用の排出量算定画面

9. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力

# (1) 算定・報告・公表制度での算定方法による温室効果ガス排出量の算定

入力した活動量から温室効果ガス排出量の算定を行います。活動量の入力は、①「表に直接入力 する」、②「報告年度の活動量をコピーする」、③「前年度の報告データをコピーする」の3通りの 方法があります。入力またはコピーした活動量は、再度変更することができます。

#### ① 温室効果ガス排出量の算定表

					_
島室効果ガス削減支援ツール 変更	した排出	係数を	初期化	する。	
算定·報告·公表制度用の排出量算定 平成20年度(2008年度) 算定結果は自動集計される。					1
温室効果ガスである物質の区分 温室効果ガス算定排出量 排出	「係数・発熱」	量の初期	<b>那</b> 化		
1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 0 tCO2				報告年度	
2.エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素以外の二酸化炭素 0 tCO2 # 報告	青年度の活動	勧量をコヒ	<u>-                                    </u>	2008	
3. x32 0 t00				コピー元	
4. 一酸化二窒素 0 1602 過2	長の報告デー	- タをコビ	<u>.</u>	2007	-
〇収集運搬業Iこおける温室効果ガス排出量の 収集運搬業Iこおける温室効果ガス排出量の 算定給 報告年度に入力した活動量を	温室	対果ガス排	#出重(tCO.	2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014	
「「「「」」」、「「「」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、	CO2	CH₄	N ₂ 0	合計	-
ガンリン 34.6 00671	0.0	0.0	0.0	0.0	
₩2i曲 38.2 0.0686	0.0	0.0	0.0	0.0	
燃     LPG     50.2     0.0598     過去に登録	した報告	ミデータ	タをコヒ	ーする。	、(報
W 法 集 法 ^{大振力} (CNARASAN) 41.1 0.0506 告した際の	活動量、	排出例	系数、	位発熱	量)
運 搬         バイオエタノール         34.6         0.0671					=-/
		い水田の	リセルを	ェクワツ	90
	たリスト	から指	旨定しま	す。	
		0.0	0.0	0.0	_
に 開 構 は、 青色のセルで表示される。	0.0	0.0	0.0	0.0	
天愿为汉(CRA梁杨斛)	0.0	00	0.0	0.0	
改良 ガソリン 34.6 0.0671	0.0	00	0.0	0.0	
法 輕油 38.2 0.0686	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出重合計	0.0	0.0	0.0	0.0	

図 122 算定・報告・公表制度での算定方法における温室効果ガス排出量の算定画面(入力前)

活動量を入力する。または、報告年度の活動量、 過去の報告データをコピーする。

<b>〇4</b> 収集	<b>又集遇</b> 運搬第	【 <b>扱う</b> 削こお	制における温い する温室効果ガ	室効果ガス排出量 ス排出量の算定結果1	<u>!</u> です。 ※排出係	数の変更、再	算定が可能です。	排出量	量は自動	算定され	<b>1</b> る。
				燃料使用量	固有単位当りの	CO ₂ 排出係数	Ľ	F	「室効果刀ス」	非出重(1880)	v
			-		単位発際量(GJ)	(+CO2/GJ)		CO ₂	CH₄	N ₂ 0	合計
			ガソリン	(N)	34.6	0.0671		0.0	0.0	0.0	00
			軽油	(N)	38.2	0.0686		0.0	0.0	0.0	0.0
		撚	LPG	(t)	50.2	0.0598		0.0	0.0	0.0	0.0

図 123 算定・報告・公表制度での算定方法における温室効果ガス排出量の算定画面(入力後)

# 温室効果ガス排出量の算定表(収集運搬業)

<b>〇4</b> 収集	<b>又集</b> 道 運搬	<b>重振</b> う 業にお	<b>制における温雪</b> ける温室効果ガス	を効果力。 マ排出量の1	ス <b>排出量</b> 算定結果で	<u>!</u> です。 ※排出係	数の変更、再	算定が可能です。				
				燃料値	间里	固有単位当りの 単位発務量(GJ)	CO ₂ 排出係数 (tCO ₂ /GJ)		温	室効果ガス CH	非出重(tCO ₂	)
		<u> </u>	ガソリン	100.0	(kl)	34.5	0.0671		232.0	0.0	0.0	232.0
			軽油	200.0	(kl)	38.2	0.0686		524.0	0.0	0.0	524.0
		燃	LPG		(t)	50.2	0.0598		0.0	0.0	0.0	0.0
	収集	科   法	天然力入(CN/G里振料)		(fimi)	41.1	0.0506		0.0	0.0	0.0	0.0
42	運		バイオエタノール		(kl)	燃料使	用量、排出	出係数、単位発熱量				
集運	車		バイオディーゼル		(kl)				排出量	は目動	算定され	13.
搬業	0 •**		ガソリン		(kJ)		(පිරිං	ſ	0.0	0.0	0.0	0.0
	料	燃	軽油		(kl)	38.2	0.0686		0.0	0.0	0.0	0.0
	便用	法	LPG		(t)	50.2	0.0598		0.0	0.0	0.0	0.0
			天然力ス(CNG軍振興)		(fm)	41.1	0.0506		0.0	00	0.0	0.0
		改良 12月11日	ガソリン		(kl)	34.5	0.0671		0.0	00	0.0	0.0
		法	軽油		(kl)	38.2	0.0686		 0.0	0.0	0.0	0.0
		温室交	カ果ガス排出重合計	+					756.0	0.0	0.0	756.0

図 124 算定・報告・公表制度での算定方法における温室効果ガス排出量の算定画面 (収集運搬業における温室効果ガス排出量)

## ③ 温室効果ガス排出量の算定表(中間処理業)

Ou 中間	<b>中間好</b> 一個	処理算 第にお	<b>割こお</b> I: ナる温室	<b>ナる温室</b> 効果ガス	<b>る温室効果ガス排出量</b> 1果ガス排出量の算定結果です。※排出係数の変更、再算定が可能です。					※太枠で囲った下水汚泥のNgO排出係数は、活動量の入力画面で登 録した炉の種類、凝集剤の種類、燃焼温度を元に自動で判定、表示されます。炉の種類等の登録を先に行ってください。						
						2) 翻由		CO ₂ 排出係数	CH₊排由係数	С <b>н, 19</b> 35,	N₂D排出係数	NOT	温室効果ガス排出重(tCO ₂ )			
								(tCO ₅ /t)	(tCH ₄ /t)	温暖代係数	(tN20/t)	温暖代係数	CO2	CH₄	N ₂ O	合計
			下	炉No1	100.0	(t)			0.0000097	21	0.000645	310	0.0	0.0	20.0	20.0
		法记	7水 汚	炉No2		(t)			0.0000097	21	0.000882	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		10.00	泥	炉No3		(t)			0.0000097	21	0.000882	310	0.0	0.0	0.0	0.0
			下水汚》	尼以外		(t)			0.0000097	21	0.00045	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		ata ∖ab	燃料菜腐 菜腐油、8	油、潤滑油 海溶剂	200.0	(t)		2.92	0.00000056	21	860000000	310	584.0	0.0	0.6	584.6
			動植物的	生廃油		(t)			0.00000056	21	8600000.0	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃7°ラ	廃ナラネチァ対 くず、合成剤	電、合成ゴム 1994	250.0	(t)		2.55	0.00036	21	0.00017	310	638.D	1.9	13.0	652.9
	産業	スナック 類	廃タイヤ			(t)		1.77	0.00025	21	0.00017	310	0.0	0.0	0.0	0.0
<b></b>	廃 棄 紙くず			WH# 1		北山夜米	ちち カーフ	「 <b>キ</b> ス	001	310	北山昌	十白赤宮	いりょう	z		
間処	物の	木くず				彩公才	※料使用重、排出係数//入力できる。			001	310	が山里	よ日勤算	乳たられ	, <b>o</b> ,	
理業	焼	繊維く	ਰਾ			(t)					0.00001	310	0.0	0.0	0.0	00
	• मा	動植物	帕性残渣			(t)					0.00001	310	0.0	0.0	0.0	0.0
	溶融	動物系	固形不	更物		(t)					0.00001	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		動物の	)ふん尿			(t)					0.00001	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		動物の	)死体			(t)					0.00001	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		<b>特別</b> 晉.	哩座業腐棄	間物の腐油		(t)		2.92	0.00000056	21	8600000.0	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃感	うち、魔ブ	ラスチック		(t)		2.55	0.00036	21	0.00017	310	۵٥	0.0	0.0	0.0
		_{乗 榮} 物性	魔ブラスき の魔葉物	チック以外		(t)					0.00001	310	۵٥	0.0	0.0	0.0
		退 そ	うち、魔ブ	ラスチック		(t)		2.55	0.00036	21	0.00017	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		合他	廃プラスき の廃棄物	ドック以外		(t)					0.00001	310	۵٥	0.0	0.0	0.0
		温室效	り果ガス排	出重合計	+								1,222.0	1.9	33.6	1,257.5

図 125 算定・報告・公表制度での算定方法における温室効果ガス排出量の算定画面

(中間処理業における温室効果ガス排出量)

# ④ 温室効果ガス排出量の算定表(最終処分業)

〇 <b>頃</b> 最終	<b>支終火</b> 処分詞	し分う 第にお	創ておける温露 ける温室効果ガ	室辺	効果ガス排出量 ^{排出量の質定結果で}		貧定が可能で	<u>ت</u>							]
				ſ	報告年度における		CH₊排出係数	4	地球		温	宝効果ガス	排出重(tCO	2)	
		_		8	廃棄物の埋立処分重		(tCH ₄ /t)	温暖	t∰¢	t 🛛	CO ₂	CH₄	N ₂ O	合計	
			下水汚泥				0.133		1			0.0		0.0	
		有機	設造業有機性汚泥				0.150		1			0.0		00	
	生	性	浄水汚泥				0.025		4			0.0		00	<u> </u>
	分别	汚泥	し尿処理汚泥		燃料使用	<b>暈、排出係数が入</b>	カできる	3.				排出量(	は白動領	育定され	13.
最	<b></b> 解 性		その他(有機無機協 合活促)					0							
終処	廃棄	紙くす					0.136		1			0.0		0.0	
分業	物 の	木くず					0.151		1			0.0		0.0	
~	最終	繊維く	ਭ				0.150		1			0.0		0.0	
	処	動植物	9性残渣				0.145		1			0.0		0.0	
	ж	動物系	國形不要物				0.145		1			0.0		0.0	
		動物の	)死体				0.145		1			0.0		0.0	
		その他	9(温合廃棄物)				0.138		1			0.0		0.0	
		温室交	加果ガス排出重合	it.				7			0.0	0.0	0.0	0.0	

図 126 算定・報告・公表制度での算定方法における温室効果ガス排出量の算定画面 (最終処分業における温室効果ガス排出量)

# ⑤ 温室効果ガス排出量の算定表(関連施設および構内車両)

		<b>施設及</b> 15.2%##	る ひ 構 が 市 志 王	り車両に	おける	電気事	業者をリ	ストから	指定する	o							
関理	加制	及び桶	的里面,	- おけつ温 -		/	· · - · · · ·	CD-机田函数	CHL排出係数	┍╾╼╼╼┛┚╒┋ ╎	CC9₀ IN∍D408⊞m3	. <b>8</b> 5		28	*****	*W#(100	<u>،</u>
		ſ	電気電	事業者		「一使用重	固有単位当りの 単位発整量(GJ)	(tCO ₂ /GJ,	(tCH ₄ /GJ,	CHL地球 温暖代係数	(tN ₂ D/G.	J, 1,	N _e O地球 温暖化係数	)) (00,	至効果力ス CH ₄	非正重(100 ₂ N,0	/ 
		电贫	- その他( トは)	テフォル	100.0	(千kWh)		0.555	CATO BARES		01205 (374)	-	$\sim$	55.5	0.0	<u>۔</u> ۵۵	55.5
			その他() 北海道	デフォルト値 電力(株)	<b>.</b>	(fmi)	41.1	0.0506				-	$\sim$	0.0	0.0	0.0	0.0
		都市た	東北電7 東京電7	力(株) 力(株)		(fmi)	41.1	0.0506				_	$\sim$	0.0	0.0	0.0	0.0
			中部電7  北陸電7	力(株) 力(株)		(fm)						_	$\sim$	0.0	0.0	0.0	0.0
		Ηt	中国電力	力(株) 力(株)	-	(t)	燃料使	用量、排出	出係数、单	单位発熱	熱量	_	$\sim$	0.0	0.0	0.0	0.0
		液化牙 (LNG)	E然ガス )	助燃剤		(t)	が入力	できる			Þ	-		0.0	0.0	0.0	0.0
				それ以外		(t)	04.0	0,0435				-		0.0	0.0	۵0	0.0
				## <b>#</b> _~^1/ih		(N)	38.2	0.0686				_		0.0	0.0	0.0	0.0
		軽油		助燃剤		(kl)	38.2	0.0686						0.0	0.0	0.0	0.0
				それ以外		(N)	38.2	0.0686					$\langle$	00	0.0	0.0	0.0
				## <b>#</b> ~*%#		(N)	36.7	0.0678					$\geq$	0.0	0.0	0.0	0.0
		灯油		助燃剤		(N)	36.7	0.0678					$\leq$	0.0	0.0	0.0	0.0
	I Ā			それ以外		(N)	36.7	0.0678					$\square$	0.0	0.0	0.0	0.0
	11			# <b>#\$</b> — <del>€</del> ∿∰	100.0	(kl)	39.1	0.0693					$\langle$	271.0	0.0	0.0	271.0
	Ŧ	A重油	I	助燃到		(N)	39.1	0.0693					$\square$	0.0	0.0	0.0	0.0
	_ •			それ以外		(kl)	39.1	0.0693						0.0	0.0	0.0	0.0
関	氮			## <b>#</b> ~~^##		(kl)	41.7	0.0715			0.000000.0	017	310	0.0	0.0	0.0	0.0
連施	ђ Т	C重油		助燃剤		(M)	41.7	0.0715			0.000000.0	017	310	0.0	0.0	0.0	0.0
設取	÷			それ以外		(N)	41.7	0.0715			0.000000.0	017	310	は中言	けつか	笛中★≯	17
75 1##	燃料			# <b>#\$</b> —€'≻⊞		(t)	50.2	0.0598					$\square$	护山重		昇ÆC1	100
傍内	し 使	LPG		助燃到		(t)	50.2	0.0598						0.0	0.0	0.0	0.0
軍両	用			それ以外		(t)	50.2	0.0598					$\langle$	0.0	0.0	0.0	0.0
				## <b>#-</b> #%		(t)	26.6	0.0906			0.000000	D58	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		石炭		助燃剤		(t)	26.6	0.0906			0.000000	D58	310	0.0	0.0	0.0	0.0
				それ以外		(t)	26.6	0.0906			0.000000	D58	310	0.0	0.0	0.0	0.0
				₩ <b>%</b> — <del>¢</del> ∿⊞		(t)	30.1	0.1079			0.000000	058	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		コーク	ス	助燃剤		(t)	30.1	0.1079			0.000000	J58	310	0.0	0.0	0.0	0.0
			user ==	それ以外		(t)	30.1	0.1079			0.000000	058	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		廃油・	「然料茶席」 酒清油茶」	₩、 殇油等		(t)		2.92			0.00000	098	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		冉生油	動植物性	生廃油		(t)		000			0.00000	398	310	0.0	0.0	0.0	0.0
		木くず				(t)							$\leq$	0.0	0.0	0.0	0.0
		バイオ	ディーゼ	n I		(N)	38.2	0.0686					$\sim$	0.0	0.0	0.0	0.0
		RPF		用途1		(t)		1.57	0.00032	21	0.0000	016	310	0.0	0.0	0.0	0.0
	+#			用途2		(t)		1.57	0.00032	21	0.0000	018	310	0.0	0.0	0.0	0.0
	11月 内	電気	その他(デ	フォルト値}		(千kWh)		0.555	- ※電気、廃油	a、木くず、F	・ RPFの温室が		「ス排出」	0.0	0.0	0.0	0.0
	単 両	ガソリ	2			(kl)	34.5	0.0671	量の算定では ←固有単位当り	ま、太枠でII りとなってい	囲った排出値 ○るため、単・	系数 ( 位発)	D単位が 熱重を乗っ	0.0	0.0	0.0	0.0
	へ 重	軽油				(N)	38.2	0.0686	しる必要はあ	りません。				0.0	0.0	0.0	0.0
	機等	灯油				(N)	36.7	0.0678					$\leq$	0.0	0.0	0.0	0.0
	Ĵ	バイオ	ティーゼ	π	L	(N)	38.2	0.0686					$\geq$	0.0	0.0	0.0	0.0
		温室交	カ果ガス排	能出重合計										326.5	0.0	0.0	326.5

図 127 算定・報告・公表制度での算定方法における温室効果ガス排出量の算定画面 (関連施設および構内車両における温室効果ガス排出量) 9. 算定・報告・公表制度用の排出量算定、様式の出力

## (2) 算定・報告・公表制度の報告様式(様式第1および別表)の出力

算定した温室効果ガス排出量の報告様式の出力を行います。メイン画面の「算定・報告・公表制 度報告様式の出力」ボタンを押す、または、算定・報告・公表制度での算定方法おける温室効果ガ ス排出量の算定画面で「様式出力」ボタンを押すと、算定した排出量を印字した報告様式の印刷イ メージが表示されます。



1成20年度(2000年度)			
温室効果ガスである物質の区分	温室劾果ガス算定排出量	排出係数・発熱量の初期化	
1. ェネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	0 tCO2		 報告年度
2. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素以外の二酸化炭素	0 tCO ₂	報告年度の活動量をコピー	2008
3. メタン	0 tCO ₂		コピー元
4. 一酸化二窒素	0 tCO ₂	過去の報告データをコピー	2007 🗸
			2007 2008 2009

報告様式の印刷イメージが表示される。

#### 図 129 算定・報告・公表制度での算定方法における温室効果ガス排出量の算定画面

II王刘朱刀入时版文版ノール	メイン画面 様式算定 印刷
<u>温室効果ガス算定排出量の報告書</u> 様式第 1(第 4条関係)	
温室効果ガス算定排	出量の報告書
	年月日
事業所管大臣(掀方支分部局長) 殿	
「AUTONA」(AUTANA」(AUTA) (AUTA) 記色本(A 新	_
戦日有 圧 が (売りがな) 氏 名	
	(法人にあっては名称及び代表者の氏名)
地球温暖化対策の推進に関する法律(以下「法」と 室効果ガス算定排出量について、次のとおり報告しま	という。)第21条の2第1項の規定により、温 ます。
事業所 特定排出者の名称	
 (前回の報告における名称)	

図 130 算定・報告・公表制度報告様式の出力画面



図 131 算定・報告・公表制度報告様式の出力画面